

令和6年度

教育委員会の自己点検・評価報告書

(令和5年度事業対象)



令和6年8月

菊川市 教育委員会

目 次

| | ページ |
|---------------------------------|-----|
| 1 教育委員会の点検・評価について | |
| 1) 趣旨 | 2 |
| 2) 点検・評価の対象 | 2 |
| 3) 点検・評価シートの構成 | 2 |
| 4) 学識経験者の知見の活用について | 3 |
| 5) 公表について | 3 |
| 2 教育委員会の活動及び運営状況報告 | |
| 1) 教育委員会委員構成 | 4 |
| 2) 令和5年度教育委員会審議状況 | 5 |
| (1) 菊川市教育委員会審議案件 | 5 |
| (2) 菊川市教育委員会報告事項 | 8 |
| 3) 令和5年度教育委員会議以外の活動報告 | 9 |
| 3 自己点検・評価シート | |
| 1) 教育委員会の活動「シート1」 | 11 |
| 2) 教育委員会が管理・執行する事務「シート2」 | 12 |
| 3) 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務「シート3」 | 13 |
| こども政策課 事務事業評価 | 14 |
| 学校教育課 事務事業評価 | 18 |
| 教育総務課 事務事業評価 | 26 |
| 社会教育課 事務事業評価 | 31 |
| 図書館 事務事業評価 | 47 |
| 4 学識経験者の意見 | |
| 1) 外部評価 | 54 |

1. 教育委員会の点検・評価について

1) 趣旨

平成20年4月1日に施行された「地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「法」という。）」第26条の規定に基づき、教育委員会は毎年、その権限に属する主要な施策や事務事業の取り組み状況について、教育委員会自らが点検評価を行うことが義務付けられました。

これは、教育委員会の今後の取組の方向性や課題を明らかにすることにより、政策効果、必要性、効率性等について、教育行政の一層の推進を図ることを目的としています。

また、結果に関する報告書を作成し、市議会へ提出するとともに一般市民に公表することにより、説明責任を果たし、信頼される教育行政の推進を目指してまいります。

2) 点検・評価の対象

点検・評価の実施にあたっては、令和5年度における教育委員会の活動や運営状況及び関係各課の事務事業を対象として点検評価を実施いたしました。

3) 点検・評価シートの構成

① 教育委員会の活動及び運営状況「シート1」

令和5年度における教育委員会の活動及び運営状況の報告を行うとともに、会議の運営改善・公開、情報発信等の活動や運営について、自らが行う事業や活動を中心に6つの項目に分け、点検事項として小項目を設け、各項目の点検評価を行いました。

② 教育委員会が管理・執行する事務「シート2」

法第21条の規定に基づき、教育委員会が自ら管理・執行する事項について、12の項目に分け構成しました。

上記の①と同様に、令和5年度における各事務の対応状況等について点検評価を行いました。

③ 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務「シート3」

法第25条第1項の規定に基づき、教育委員会が管理・執行を教育長に委任して行う事務・事業のうち、教育委員会事務局を構成する各担当課及び教育委員会の権限に属する事務の一部を補助執行する担当課が扱う施策ごとに体系図と点検評価のシートを作成し、施策を構成する主な事務事業の実施状況について点検し、評価を実施しました。

4) 学識経験者の知見の活用について

法第26条第2項の規定による「学識経験等を有する者の知見の活用」については、それぞれ関係する組織の代表者の皆様にお願ひし、評価結果に対するご意見をいただき外部評価としました。

外部評価依頼者

| | 職 名 | | 氏 名 | 対象事務事業 |
|----|--------------|---------------|---------|----------------|
| 1 | 教育委員 | 元教育長職務 代理者 | 松下 彰 | 教育委員会活動、学校教育等 |
| 2 | 〃 | 元委員 | 笹瀬 昌子 | 〃 |
| 3 | 教育文化部 | 元部長 | 加藤 容章 | 〃 |
| 4 | 社会教育委員 | 委 員 長 | 中 嶋 るり子 | 社会教育、文化振興・生涯学習 |
| 5 | 小中 PTA 連絡協議会 | 前 会 長 | 増倉 三保子 | 学校教育 |
| 6 | 子ども会連合会 | 前 会 長 | 鈴木 明子 | 社会教育 |
| 7 | 文化協会 | 前 会 長 | 伊藤 芳男 | 文化振興・生涯学習 |
| 8 | 文化財保護審議会 | 会 長 | 北原 勤 | 文化財 |
| 9 | 横地城跡保存会 | 会 長 | 福井 淳一 | 〃 |
| 10 | スポーツ推進委員 | 委 員 長 | 安藤 正樹 | スポーツ振興 |
| 11 | NPO法人スポーツ協会 | 会 長 | 岩水 素江 | スポーツ振興・生涯学習 |
| 12 | スポーツ推進審議会 | 副 会 長 | 服部 茂和 | スポーツ振興 |
| 13 | 図書館協議会 | 副 会 長 | 黒田 栄子 | 図書館 |
| 14 | 給食センター運営委員会 | 前委員長 | 山田 実里 | 学校給食 |
| 15 | 〃 | 前副委員長 | 後藤 徹也 | 〃 |
| 16 | 公立幼稚園 | 元 園 長 | 山下 洋子 | 幼児教育 |
| 17 | 小笠北幼稚園 PTA | 前 会 長 | 鈴木 啓祐 | 〃 |

5) 公表について

公表については、菊川市のホームページに掲載するとともに、市役所本庁や小笠支所、菊川文庫、小笠図書館に報告書を置き、閲覧できるようにいたします。

2. 教育委員会の活動及び運営状況報告

1) 菊川市教育委員会 委員構成

令和5年4月1日現在

| 職 名 | 氏 名 | 任 期 | |
|-------------------|-----------|---------|----------------|
| 教 育 長 | 松 本 嘉 男 | 任期 | R4.2.10~R7.2.9 |
| | | 教育長任期 | R4.2.10~R7.2.9 |
| 委 員 (教育長職務代理者) | 赤 堀 ひ と み | 任期 | R4.2.10~R8.2.9 |
| | | 職務代理者任期 | R4.2.10~R7.2.9 |
| 委 員 | 渡 邊 尚 司 | 任期 | R5.2.10~R9.2.9 |
| | 岡 本 直 彦 | 任期 | R3.2.10~R7.2.9 |
| | 伊 藤 り さ | 任期 | R2.2.10~R6.2.9 |

2) 菊川市教育委員会 委員構成

令和6年2月10日現在

| 職 名 | 氏 名 | 任 期 | |
|-------------------|-----------|---------|-----------------|
| 教 育 長 | 松 本 嘉 男 | 任期 | R4.2.10~R7.2.9 |
| | | 教育長任期 | R4.2.10~R7.2.9 |
| 委 員 (教育長職務代理者) | 赤 堀 ひ と み | 任期 | R4.2.10~R8.2.9 |
| | | 職務代理者任期 | R4.2.10~R7.2.9 |
| 委 員 | 渡 邊 尚 司 | 任期 | R5.2.10~R9.2.9 |
| | 岡 本 直 彦 | 任期 | R3.2.10~R7.2.9 |
| | 粕 谷 友 一 | 任期 | R6.2.10~R10.2.9 |

2) 令和5年度 菊川市教育委員会審議状況

(1) 菊川市教育委員会 審議案件

| 議案 番号 | 件 名 | 提出日 | | 担 当 課 |
|----------|---|-------|-----|----------------|
| 1 | 準要保護世帯の認定について | 4月21日 | 定例会 | 教育総務課 |
| 2 | 菊川市就学支援委員会委員の委嘱について | 4月21日 | " | 学校教育課 |
| 3 | 菊川市立小・中学校主任等の任命について | 4月21日 | " | 学校教育課 |
| 4 | 菊川市公立学校評議員の委嘱について | 4月21日 | " | 学校教育課 |
| 5 | 菊川市社会教育委員及び公民館運営審議会委員の委嘱について | 4月21日 | " | 社会教育課 |
| 6 | 菊川市文芸誌編集委員会委員の委嘱について | 4月21日 | " | 社会教育課 |
| 7 | 菊川文化会館アエル大・小ホール舞台照明負荷設備改修工事について | 4月21日 | " | 社会教育課 |
| 8 | 菊川市スポーツ推進審議会委員の委嘱について | 4月21日 | " | 社会教育課 |
| 9 | 菊川市スポーツ推進委員の委嘱について | 4月21日 | " | 社会教育課 |
| 10 | 菊川市スポーツ委員の委嘱について | 4月21日 | " | 社会教育課 |
| 11 | 菊川市文化財保護審議会委員の委嘱について | 4月21日 | " | 社会教育課 |
| 12 | 菊川城館遺跡群整備委員会委員の委嘱について | 4月21日 | " | 社会教育課 |
| 13 | 菊川市立図書館協議会委員の任命について | 4月21日 | " | 図書館 |
| 14 | 菊川市子ども読書活動推進協議会委員の任命について | 4月21日 | " | 図書館 |
| 15 | 菊川市幼稚園評議員の委嘱について | 4月21日 | " | こども政策課 |
| 16 | 菊川市いじめ問題調査委員会委員の委嘱について | 4月21日 | " | 学校教育課 |
| 17 | 準要保護世帯の認定について | 5月23日 | 定例会 | 教育総務課 |
| 18 | 菊川市立学校給食センター運営委員会委員の委嘱及び任命について | 5月23日 | " | 教育総務課 |
| 19 | 菊川市いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱について | 5月23日 | " | 学校教育課 |
| 20 | 学校医の委嘱について | 5月23日 | " | 学校教育課 |
| 21 | 菊川市青少年健全育成市民会議常任委員の委嘱について | 5月23日 | " | 社会教育課 |
| 22 | 菊川市菊川文化会館アエル運営委員会委員の委嘱について | 5月23日 | " | 社会教育課 |
| 23 | 令和5年度一般会計補正予算(第2号)(案)について | 5月23日 | " | 教育文化部 連携調整室 |
| 24 | 電気工事の請負契約の締結について(令和5年度市単独事業菊川文化会館アエル大・小ホール舞台照明負荷設備改修工事) | 6月2日 | 臨時会 | 社会教育課 |
| 25 | 準要保護世帯の認定について | 6月20日 | 定例会 | 教育総務課 |
| 26 | 菊川市小中一貫教育の在り方検討会委員の委嘱について | 6月20日 | " | 学校教育課 |
| 27 | 菊川市歴史検定委員会委員の委嘱について | 6月20日 | " | 社会教育課 |
| 28 | 菊川市芸術文化大会出場奨励金支給要綱の一部改正について | 6月20日 | " | 社会教育課 |
| 29 | 菊川市立図書館条例施行規則の一部改正について | 6月20日 | " | 図書館 |
| 30 | 菊川市幼稚園管理運営に関する規則の一部改正について | 6月20日 | " | こども政策課 |

| 議案 番号 | 件 名 | 提 出 日 | | 担 当 課 |
|----------|----------------------------------|--------|-----|----------------|
| 31 | 準要保護世帯の認定について | 7月20日 | 定例会 | 教育総務課 |
| 32 | 令和6～8年度使用小学校教科用図書の採択について | 7月20日 | 〃 | 学校教育課 |
| 33 | 令和5年度 教育委員会の自己点検・評価報告書について | 7月20日 | 〃 | 教育総務課 |
| 34 | 菊川市未来の部活動在り方検討会設置要綱の制定について | 7月20日 | 〃 | 学校教育課 |
| 35 | 準要保護世帯の認定について | 8月23日 | 定例会 | 教育総務課 |
| 36 | 令和5年度区域外就学について | 8月23日 | 〃 | 学校教育課 |
| 37 | 菊川市未来の部活動在り方検討会委員の委嘱について | 8月23日 | 〃 | 学校教育課 |
| 38 | 菊川市学校の未来を考える会要綱の制定について | 8月23日 | 〃 | 学校教育課 |
| 39 | 菊川市有形文化財の指定について | 8月23日 | 〃 | 社会教育課 |
| 40 | 令和5年度一般会計補正予算(第3号)(案)について | 8月23日 | 〃 | 教育文化部 連携調整室 |
| 41 | 準要保護世帯の認定について | 9月20日 | 定例会 | 教育総務課 |
| 42 | 準要保護世帯の認定について | 10月20日 | 定例会 | 教育総務課 |
| 43 | 菊川市学校の未来を考える会委員の委嘱について | 10月20日 | 〃 | 学校教育課 |
| 44 | 菊川市学校運営協議会規則の制定について | 10月20日 | 〃 | 学校教育課 |
| 45 | 菊川市学校運営協議会要綱の制定について | 10月20日 | 〃 | 学校教育課 |
| 46 | 菊川市学舎ディレクター要綱の制定について | 10月20日 | 〃 | 学校教育課 |
| 47 | 菊川市公民館条例施行規則の一部改正について | 10月20日 | 〃 | 社会教育課 |
| 48 | 準要保護世帯の認定について | 11月21日 | 定例会 | 教育総務課 |
| 49 | 令和6年度学校評価に係る市内小中学校統一項目について | 11月21日 | 〃 | 学校教育課 |
| 50 | 令和5年度一般会計補正予算(第4号)(案)について | 11月21日 | 〃 | 教育文化部 連携調整室 |
| 51 | 準要保護世帯の認定について(新規申請) | 12月19日 | 定例会 | 教育総務課 |
| 52 | 準要保護世帯の認定について(入学前支給申請) | 12月19日 | 〃 | 教育総務課 |
| 53 | 指定学校変更について | 12月19日 | 〃 | 学校教育課 |
| 54 | 令和5年度一般会計補正予算(第5号)(案)について | 12月19日 | 〃 | 教育文化部 連携調整室 |
| 55 | 準要保護世帯の認定について | 1月23日 | 定例会 | 教育総務課 |
| 56 | 準要保護世帯の認定について | 2月9日 | 定例会 | 教育総務課 |
| 57 | 令和5年度給食費の額の一部変更について | 2月9日 | 〃 | 教育総務課 |
| 58 | 令和6年度給食実施回数について | 2月9日 | 〃 | 教育総務課 |
| 59 | 令和6年度給食費の額について | 2月9日 | 〃 | 教育総務課 |
| 60 | 菊川市教育振興基本計画(案)の策定について | 2月9日 | 〃 | 教育総務課 |
| 61 | 令和5年度一般会計補正予算(第7号)(案)について【教育文化部】 | 2月9日 | 〃 | 教育文化部 連携調整室 |
| 62 | 令和6年度一般会計当初予算(案)について【教育文化部】 | 2月9日 | 〃 | 教育文化部 連携調整室 |

| 議案 番号 | 件 名 | 提出日 | | 担 当 課 |
|----------|--|-------|-----|-----------------|
| 63 | 令和5年度一般会計補正予算(第7号)(案)について【こども未来部】 | 2月9日 | 〃 | こども未来部 連携調整室 |
| 64 | 令和6年度一般会計当初予算(案)について【こども未来部】 | 2月9日 | 〃 | こども未来部 連携調整室 |
| 65 | 令和6年度教職員の人事異動について | 3月1日 | 臨時会 | 学校教育課 |
| 66 | 小学校教師用教科用図書等の購入について | 3月1日 | 〃 | 学校教育課 |
| 67 | 小学校校内LAN更新・増設工事について | 3月1日 | 〃 | 学校教育課 |
| 68 | 市有財産の取得について(小学校教師用教科用図書、指導書及び指導用資料の新規購入) | 3月6日 | 臨時会 | 学校教育課 |
| 69 | 準要保護世帯の認定について(新規申請) | 3月22日 | 定例会 | 教育総務課 |
| 70 | 準要保護世帯の認定について(継続申請) | 3月22日 | 〃 | 教育総務課 |
| 71 | 令和6年度 指定学校変更について | 3月22日 | 〃 | 学校教育課 |
| 72 | 令和6年度 区域外就学について | 3月22日 | 〃 | 学校教育課 |
| 73 | 電気通信工事の請負契約の締結について(令和5年度 国庫補助小中学校施設整備事業(繰)菊川市内小学校校内LAN更新・増設工事) | 3月22日 | 〃 | 学校教育課 |
| 74 | 学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の委嘱について | 3月22日 | 〃 | 学校教育課 |
| 75 | 菊川市学校運営協議会委員の委嘱について | 3月22日 | 〃 | 学校教育課 |
| 76 | 菊川市学舎ディレクターの委嘱について | 3月22日 | 〃 | 学校教育課 |
| 77 | 菊川市立小・中学校処務規程の一部改正について | 3月22日 | 〃 | 学校教育課 |
| 78 | 菊川市立学校における出席停止の手続に関する要綱の一部改正について | 3月22日 | 〃 | 学校教育課 |
| 79 | 菊川市区域外就学に関する事務取扱要綱の一部改正について | 3月22日 | 〃 | 学校教育課 |
| 80 | 菊川市指定学校変更事務取扱要綱の一部改正について | 3月22日 | 〃 | 学校教育課 |
| 81 | 菊川市立小・中学校学籍事務取扱要領の一部改正について | 3月22日 | 〃 | 学校教育課 |
| 82 | 菊川市立小・中学校公印取扱要領の一部改正について | 3月22日 | 〃 | 学校教育課 |
| 83 | 菊川市立小・中学校文書取扱要領の一部改正について | 3月22日 | 〃 | 学校教育課 |
| 84 | 菊川市立学校備品取扱要領の一部改正について | 3月22日 | 〃 | 学校教育課 |
| 85 | 菊川市立小・中学校評議員設置要綱の廃止について | 3月22日 | 〃 | 学校教育課 |
| 86 | 菊川市中央公民館開館時間及び使用時間延長の試行について | 3月22日 | 〃 | 社会教育課 |
| 87 | 菊川市スポーツ推進審議会委員の委嘱について | 3月22日 | 〃 | 社会教育課 |
| 88 | 菊川市スポーツ推進委員の委嘱について | 3月22日 | 〃 | 社会教育課 |
| 89 | 菊川市スポーツ委員の委嘱について | 3月22日 | 〃 | 社会教育課 |
| 90 | 幼稚園医、幼稚園歯科医及び幼稚園薬剤師の委嘱について | 3月22日 | 〃 | こども政策課 |
| 91 | 令和6年4月1日付け教育委員会事務局職員の人事異動について | 3月22日 | 〃 | 教育総務課 |

令和5年度は合計で91件について審議を行いました。

(2) 菊川市教育委員会 報告事項

| 番号 | 件名 | 提出日 | | 担 当 課 |
|----|-----------------------------------|--------|-----|-----------------|
| 1 | 令和5年度 菊川市当初予算概要、施政方針及び市の組織等について | 4月21日 | 定例会 | 教育文化部 連携調整室 |
| 2 | 令和5年度 教育委員会事務局 部の運営方針、組織及び事務等について | 4月21日 | " | 教育文化部 連携調整室 |
| 3 | 令和5年度 こども未来部 部の運営方針、組織及び事務等について | 4月21日 | " | こども未来部 連携調整室 |
| 4 | 令和5年度 保育施設等の入所状況について | 4月21日 | " | こども政策課 |
| 5 | 菊川市の教育2023について | 8月23日 | 定例会 | 教育総務課 |
| 6 | 令和5年度 菊川市教育委員会視察研修について | 9月20日 | 定例会 | 教育総務課 |
| 7 | 全国学力・学習状況調査の結果について | 9月20日 | " | 学校教育課 |
| 8 | 「コミュニティ・スクール」導入について | 9月20日 | " | 学校教育課 |
| 9 | 菊川市教育振興基本計画の策定について(中間報告) | 10月20日 | 定例会 | 教育総務課 |
| 10 | 令和5年度 菊川市教育委員会視察研修について | 10月20日 | " | 教育総務課 |
| 11 | 菊川市学校給食調理等業務委託業者の選定について | 10月20日 | " | 教育総務課 |
| 12 | 菊川市未来の部活動在り方検討会について | 10月20日 | " | 学校教育課 |
| 13 | 菊川市学校給食調理等業務委託業者の選定結果について | 12月19日 | 定例会 | 教育総務課 |
| 14 | 令和6年菊川市はたちの集いについて | 12月19日 | " | 社会教育課 |
| 15 | 菊川市教育委員会委員の任命について | 1月23日 | 定例会 | 教育総務課 |
| 16 | 令和5年度卒業式・令和6年度入学式日時及び管理者(案)について | 1月23日 | " | 教育総務課 |
| 17 | 令和6年度定例教育委員会及び学校訪問等の日程(案)について | 1月23日 | " | 教育総務課 |
| 18 | 令和6年度給食費の額の改定について | 1月23日 | " | 教育総務課 |
| 19 | 菊川市こども家庭センターの設置(案)について | 2月9日 | 定例会 | こども未来部 連携調整室 |
| 20 | 令和5年度離任式・令和6年度着任式について | 2月9日 | " | 学校教育課 |
| 21 | 令和6年度以降の「菊川市の教育」の見直しについて | 3月22日 | 定例会 | 教育総務課 |
| 22 | 令和6年度定例教育委員会及び学校訪問等の日程について | 3月22日 | " | 教育総務課 |

3) 令和5年度 教育委員会議以外の活動報告

(1) 学校及び教育施設訪問

小学校5校、中学校2校、幼稚園1園及び教育施設1箇所の訪問を実施しました。

| 訪問日 | 訪問施設 | 訪問日 | 訪問施設 |
|-------|--------|--------|--------|
| 5月23日 | 小笠北幼稚園 | 10月20日 | 牧之原小学校 |
| 6月20日 | 小笠東小学校 | 11月21日 | 菊川西中学校 |
| 7月20日 | 小笠南小学校 | 12月19日 | 河城小学校 |
| 8月23日 | スポーツ協会 | 1月23日 | 菊川東中学校 |
| 9月20日 | 内田小学校 | | |

(2) 会議・研修会

教育長及び教育委員を対象とした、次の会議及び研修会に参加しました。

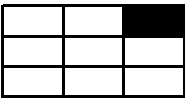
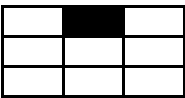
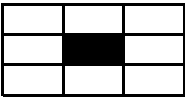
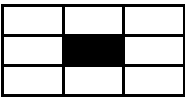
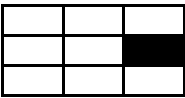
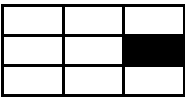
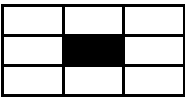
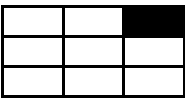
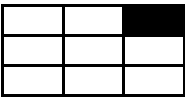
| 開催日 | 会議・研修名 | 出張先 | 出席者 |
|---------|-------------------|---------|-----|
| 4月5日 | 静岡県市町教育委員会教育長会 | 静岡市(県庁) | 1名 |
| 4月10日 | 第1回静西教育長連絡協議会 | 掛川市 | 1名 |
| 4月25日 | 第1回小笠地区教科書採択連絡協議会 | 掛川市 | 1名 |
| 4月26日 | 静岡県市町教育委員会連絡協議会総会 | 富士市 | 1名 |
| 4月27日 | 静岡県都市教育長協議会総会 | 沼津市 | 1名 |
| 5月9～10日 | 関東地区都市教育長協議会総会 | 東京都立川市 | 1名 |
| 5月18日 | 小笠教育会館総会 | 掛川市 | 1名 |
| 6月7日 | 3市教育長会議 | 御前崎市 | 1名 |
| 6月28日 | 第2回小笠地区教科書採択連絡協議会 | 掛川市 | 1名 |
| 7月10日 | 第2回静西教育長連絡協議会 | 掛川市 | 1名 |
| 7月21日 | 3市教育長会議 | 御前崎市 | 1名 |
| 7月27日 | 静岡県市町教育長研修会 | 富士市 | 1名 |
| 8月9日 | 若手教員と語る会 | 菊川市 | 4名 |
| 10月6日 | 第3回静西市町教育長連絡協議会 | 掛川市 | 1名 |
| 10月17日 | 小笠地区教育長研修会 | 御前崎市 | 1名 |
| 11月7～8日 | 菊川市教育委員会視察研修 | 長野県小谷村 | 4名 |
| 11月20日 | 第4回静西市町教育長連絡協議会 | 掛川市 | 1名 |
| 11月21日 | 校長と語る会 | 菊川市 | 5名 |
| 1月16日 | 3市教育長会議 | 御前崎市 | 1名 |
| 1月30日 | 3市教育長会議 | 御前崎市 | 1名 |
| 2月6日 | 3市教育長会議 | 御前崎市 | 1名 |

(3) 各種行事・大会

その他、次の各種行事・大会に参加しました。

| 開催日 | | 行事・大会名 | |
|-----|---|--------|---|
| 開催月 | 行事・大会名 | 開催月 | 行事・大会名 |
| 4月 | 3日：教職員着任式 5日：菊川市スポーツ少年団結団式 7日：小・中学校 入学式 8日：菊川市文化協会総会(書面決議) 16日：スポーツ委員研修会 26日：中学生ふるさと未来塾(岳洋中) | 10月 | 9日：スポーツ少年団交流会 26日：中学生ふるさと未来塾(菊川西中) 28・29日：菊川市文化祭 28日：文学講演会 |
| 5月 | 20日：体力測定会&健康チェック(菊川会場) 25日：菊川市スポーツ協会総会 27日：市内高等学校野球大会 | 11月 | 5日：スポーツレクリエーションフェスティバル KIKUGAWA2023 19日：第24回静岡県市町対抗駅伝競走大会 菊川市選手団結団式 24日：学力向上委員会兼教務主任研修会 |
| 6月 | 14日：青少年健全育成市民会議常任委員会 17日：体力測定会&健康チェック(小笠会場) 19日：こころの劇場 | 12月 | 2日：第24回静岡県市町対抗駅伝競走大会 14日：県下一斉冬季青少年街頭生活指導 17日：第19回菊川Cityマラソン 23・24日：地域体験交流事業 小谷村スキー教室 |
| 7月 | 1日：おはなしステーション 4日：青少年非行・被害防止街頭キャンペーン 13日：小谷村立小谷小学校との交流会(横地小) 20日：県下一斉夏季青少年街頭生活指導 | 1月 | 7日：令和6年菊川市はたちの集い 21日：第19回菊川市民健康駅伝競走大会(中止) 28日：第13回深蒸し茶の里'菊川ファン駅伝 |
| 8月 | 1日：学び続ける教員研修会 2日：小笠地区社会教育委員研修会 10日：中体連東海大会以上出場部活表敬訪問 19日：菊川市陸上競技選手権大会 | 2月 | 3日：第19回菊川市書き初め展 表彰式 18日：ベタボード交流会 |
| 9月 | 6日：日常的なICT活用で実現する令和の学び研修会 9日：菊川市民絵画コンクール表彰式 9日：市町対抗駅伝競走大会菊川市選考記録会 26日：中学生ふるさと未来塾(菊川東中) | 3月 | 3日：ビーチボール交流会 19日：小・中学校 卒業式 26日：市子ども会連合会総会 27日：教職員離任式 |

[自己点検・評価]

| シート 1 | | (大項目) | 教育委員会の活動 | |
|-------------------------------|---------------------|---|--|--|
| 表の見方 | | 実現度 A=達成又はほぼ達成している。(80%以上) B=概ね達成している(60%以上80%未満) C=努力を要する。(60%未満) | 重要度 A=非常に重要 B=重要 C=緊急性は低い | |
| シート1 | シート2 | | | |
| 中項目 | 小項目 | 点検・評価 | | |
| (1)教育委員会の会議の運営改善 | ①教育委員会会議の開催回数 | 実現度↑  →重要度 | ・定例会を12回、臨時会を3回開催し、91件の議案について審議した。 | |
| | ②教育委員会会議の運営上の工夫 | 実現度↑  →重要度 | ・会議時間の短縮に努めた。 ・資料の事前配布を行った。 ・定例教育委員会の開催年間スケジュールを作成した。 | |
| (2)教育委員会の会議の公開、保護者や地域住民への情報発信 | ①教育委員会会議の傍聴者の状況 | 実現度↑  →重要度 | ・令和5年度は、定例会に延べ2名の傍聴があった。 | |
| | ②議事録の公開、広報・公聴活動の状況 | 実現度↑  →重要度 | ・令和5年度は、会議録等の資料公開要求がなかった。 | |
| (3)教育委員会と事務局との連携 | ○教育委員会と事務局との連携 | 実現度↑  →重要度 | ・教育委員会会議の開催前に事前打合せを行った。 | |
| (4)教育委員会と首長の連携 | ○教育委員会と首長との意見交換会の実施 | 実現度↑  →重要度 | ・令和5年度は、総合教育会議の招集がなかった。 | |
| (5)教育委員の自己研鑽 | ○研修会への参加状況 | 実現度↑  →重要度 | ・研修会等に参加した。令和5年度は新たに「教育長・教育委員と語る会」として、8月9日に「若手教員と語る会」、11月21日に「校長と語る会」を実施し、学校における働き方改革等について、座談会形式で情報交換を行った。 ※P9 会議・研修会参照 | |
| (6)学校及び教育施設に対する支援・条件整備 | ①学校訪問 | 実現度↑  →重要度 | ・市内の市立小中学校への訪問を6校(小学校4校、中学校2校)、牧之原市菊川市学校組合立小中学校への訪問を1校(小学校1校)実施し、各学校の概要の把握、授業参観、フリートーク方式による意見交換を行った。 | |
| | ②教育施設の訪問 | 実現度↑  →重要度 | ・市内の教育施設への訪問を2箇所(小笠北幼稚園、スポーツ協会)実施し、施設の概要の把握、施設内見学、フリートーク方式による意見交換を行った。 | |

| シート 2 | | (大項目) | 教育委員会が管理・執行する事務 | | | | | | | | | |
|---|--|-------|-----------------|--|---|--|--|---|---|---|--|--|
| 中項目 | 小項目 | 点検・評価 | | | | | | | | | | |
| (1) 教育行政の運営に関する基本方針を定めること | 実現度 ↑ <table border="1"> <tr><td>A</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>B</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>C</td><td>B</td><td>A</td></tr> </table> →重要度 | A | | | B | | | C | B | A | ・「菊川市教育振興基本計画」を策定し、教育委員及び学校長並びに幹部管理職へ説明した。 | |
| A | | | | | | | | | | | | |
| B | | | | | | | | | | | | |
| C | B | A | | | | | | | | | | |
| (2) 教育委員会規則及び規程を制定し、又は改廃すること | 実現度 ↑ <table border="1"> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> →重要度 | | | | | | | | | | ・令和5年度は、18件の規則、要綱等の制定、改正及び廃止を行った。 | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| (3) 教育予算その他議会の議決を経べき議案の原案を決定すること | 実現度 ↑ <table border="1"> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> →重要度 | | | | | | | | | | ・当初予算案及び補正予算案を議案上程した。 ・議会の議決に付すべき契約について、議案上程した。 ・議会の議決に付すべき財産の取得について、議案上程した。 | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| (4) 教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関を設置し、又は廃止すること | 実現度 ↑ <table border="1"> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> →重要度 | | | | | | | | | | ・令和5年度は、議案はなかった。 | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| (5) 教育委員会事務局及び教育機関の職員の任免その他の人事に関すること(県費負担教職員の任免を除く) | 実現度 ↑ <table border="1"> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> →重要度 | | | | | | | | | | ・教育委員会に属する職員の人事異動について、議案上程し、審議をした。 | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| (6) 県費負担に係る校長の任免その他の人事の内申に関すること | 実現度 ↑ <table border="1"> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> →重要度 | | | | | | | | | | ・次年度学校長の人事異動案について審議し、内申を行った。 | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| (7) 県費負担に係る教職員の人事の内申に関すること | 実現度 ↑ <table border="1"> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> →重要度 | | | | | | | | | | ・次年度教職員等の人事異動案について審議し、内申を行った。 | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| (8) 教育委員会の所管に属する各種委員会の委員の任命又は委嘱に関すること | 実現度 ↑ <table border="1"> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> →重要度 | | | | | | | | | | ・教育委員会が任命・委嘱する人事案件はすべて上程し、審議をした。 | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| (9) 教科用図書の採択の決定に関すること | 実現度 ↑ <table border="1"> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> →重要度 | | | | | | | | | | ・令和5年度は、議案1件(小学校教科用図書)を上程し、審議をした。 | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| (10) 通学区域を設定し、又は変更すること | 実現度 ↑ <table border="1"> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> →重要度 | | | | | | | | | | ・令和5年度は、議案はなかった。 | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| (11) 文化財を指定し、又は指定を解除すること | 実現度 ↑ <table border="1"> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> →重要度 | | | | | | | | | | ・令和5年度は、菊川市有形文化財の指定について議案1件(福田半香画「驟雨之図」)を上程し、審議をした。 | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| (12) 請願、陳情、訴訟及び異議の申立てに関すること | 実現度 ↑ <table border="1"> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> →重要度 | | | | | | | | | | ・令和5年度は、教育委員会に対する請願、陳情、訴訟及び異議の申立てはなかった。 | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |

シート 3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

各点検評価シートの実績評価

A=十分な成果があり、施策の目的が達成された。
 B=一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。
 C=十分な成果が得られず、改善が必要である。

| 担当課名 | 番号 | 施策 (大分類) | ページ | |
|-------------------|----|------------------------------|-------------------|----|
| こども政策課 | ① | 幼児教育・保育の質の向上 | 15 | |
| | ② | 地域社会・幼稚園・保育園・認定こども園・小中学校との連携 | 16 | |
| 学校教育課 | ① | 小中一貫教育「学びの庭」構想の推進 | 19 | |
| | ② | ICT環境等を生かした魅力ある授業づくり | 20 | |
| | ③ | 思いやりに満ちた学校づくり | 21 | |
| | ④ | 「一人ひとりが生きる教育」の推進 | 23 | |
| | ⑤ | こころざしを持った頼もしい教職員の育成 | 24 | |
| 教育総務課 | ⑥ | 学校施設の適正な維持管理・耐震化・長寿命化 | 27 | |
| | ⑦ | 安全で安心して教育が受けられる環境づくり | 28 | |
| 給食センター (教育総務課) | ⑧ | 安全でおいしい給食の安定的な提供 | 29 | |
| 社会教育課 | ① | 社会教育 | 地域で子どもを守り育てる活動の推進 | 34 |
| | ② | | 家庭の教育力向上 | 36 |
| | ③ | | 生涯学習活動の推進 | 37 |
| | ④ | | 鑑賞機会の提供 | 37 |
| | ⑤ | | 市民の文化・芸術活動への支援 | 38 |
| | ⑥ | 文化振興 | 文化財の保存・周知・活用 | 40 |
| | ⑦ | スポーツ振興 | 誰もがスポーツに触れあう機会の創出 | 43 |
| | ⑧ | | スポーツ団体・スポーツ活動への支援 | 44 |
| | ⑨ | | スポーツ活動の場の提供 | 46 |
| 図書館 | ⑩ | 子どもの読書活動の推進 | 48 | |
| | ⑪ | 読書機会の提供と読書活動の啓発 | 50 | |
| | ⑫ | 読書環境の整備 | 52 | |

| | | |
|--|--|-------------------|
| 基本理念 | 「豊かな学びで歩み続ける人づくり」 | |
| 「豊かな学びで歩み続ける人」とは | ～自立した人、思いやりのある人、いつまでも学び続ける人～ | |
| 基本方針 | 1 生涯にわたる人格形成の基礎を培う教育・保育の推進(こども未来部との連携)【幼児教育】 | |
| 重点施策(大分類) | 施策(中分類) | 個別事業(事務・事業) |
| ① 幼児教育・保育の質の向上 (こども政策課) | (1) 子どもの発達や特性を踏まえた計画的な教育の推進と、体験を通して興味・関心・意欲をふくらめる教育の推進 | ア 指導計画の更新 |
| | | イ 各種研修会・研究会の開催 |
| | | ウ 各種園行事の充実 |
| | (2) 保護者との連携 | ア 家庭教育学級への参加 |
| | | イ 保護者の保育参加の推進 |
| | | ウ PTA活動、保護者協力活動 |
| | (3) 親子のふれあいを通した心の醸成 | ア 親子行事の開催 |
| | | イ 読み聞かせ活動の推進 |
| | | ウ 図書館との連携 |
| ② 地域社会・幼稚園・保育園・認定こども園・小中学校との連携 (こども政策課) | (1) 地域社会・関係機関と連携した幼児教育の推進 | ア 地域行事への参加 |
| | | イ 地域の方とのふれあい活動の推進 |
| | (2) 幼稚園・保育園・認定こども園・小規模保育事業所との連携 | ア 菊川市幼児施設連絡会との連携 |
| | | イ 小笠地区乳幼児保健会への出席 |
| | | ウ インクルーシブ教育の推進 |
| | (3) 小中学校との交流の推進 | ア 保・幼・こ・小連絡会の開催 |
| | | イ 小・中との授業研究会への参加 |
| | | ウ 小学校との交流 |

令和5年度 点検評価シート

| | | | | |
|------------------------|--|-------------------------|----------|---|
| 施策名 (大分類) | 幼児教育・保育の質の向上 | | | |
| 施策名 (中分類) | 子供の発達や特性を踏まえた計画的な教育の推進と、体験を通して興味・関心・意欲をふくらめる教育の推進【①-(1)】 | 担当課・係 こども政策課 幼保こども園係 | | |
| 施策の目的 | 家庭と地域と連携して、乳幼児期の教育の目標を達成するために必要な様々な体験が豊富に得られるような環境を構成し、乳幼児期にふさわしい生活が営めるように努める。 | | | |
| 教育委員会による自己評価 | | | | |
| 令和5年度評価指標 (事業計画・目標) | <ul style="list-style-type: none"> ・園長会、学年研修、全体研修会、園内研修会、特別支援コーディネーター研修会等を開催し、職員の質の向上を図る。 ・各園において、入園式、園外保育、修了式、卒園式を実施し、交流事業として、2園交流会を実施する。 | | | |
| 令和5年度実績評価 (施策評価) | <p>各種研修会に参加し、公私立園の職員が共通の研修に参加する機会も設け、保育の質の向上を図れた。また、園行事、交流会(公立園)を通して、親子関係を深めたり、友達関係を広めたりすることができた。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">A</td> <td> A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。 </td> </tr> </table> | | A | A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。 |
| A | A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。 | | | |
| 令和4年度実績評価 | 各種研修会・部会を年間2回開催し、保育課題を共通理解するとともに、園運営や経営の充実が図られた。また、園行事・交流会を計画通り実施して、親子関係や友達関係を深めることができた。 | | | |
| 今後の取組課題 又は改善点 | 公立園、私立園の職員交流研修を実施し、保育課題を共通理解していく。 | | | |

| | | | | |
|------------------------|---|-------------------------|----------|---|
| 施策名 (大分類) | 幼児教育・保育の質の向上 | | | |
| 施策名 (中分類) | 保護者との連携【①-(2)】 | 担当課・係 こども政策課 幼保こども園係 | | |
| 施策の目的 | 親子のふれあい活動を取り入れて、子育ての楽しさを感じたり、保護者同士が悩みを話し合ったり、子育ての情報を共有・提供したりして、子育てやしつけについて学ぶ場を提供する。 | | | |
| 教育委員会による自己評価 | | | | |
| 令和5年度評価指標 (事業計画・目標) | <ul style="list-style-type: none"> ・各園の事業計画に従って、家庭教育学級による親子ふれあい活動や親同士の学習会、保護者の保育参加、PTA活動等を実施する。 | | | |
| 令和5年度実績評価 (施策評価) | <p>各園、行事や活動等に保護者が参加したり、参観懇談会を実施し、子どもの育ちに共感したり、子育てについての悩みを相談したりすることで、よりよい親子関係を築くことができた。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">A</td> <td> A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。 </td> </tr> </table> | | A | A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。 |
| A | A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。 | | | |
| 令和4年度実績評価 | 各園、年間2回以上の参観会や懇談会を実施し、園での様子から個々の育ちに共感したり、子育てについての悩みを相談したりすることで、よりよい親子関係が築けるようになった。また、保護者同士の関わりも広まった。 | | | |
| 今後の取組課題 又は改善点 | 今後も子育てについての悩みや不安を相談できる場を提供し、家庭や地域との連携に取り組んでいく。 | | | |

令和5年度 点検評価シート

| | | |
|------------------------|---|---|
| 施策名 (大分類) | 幼児教育・保育の質の向上 | |
| 施策名 (中分類) | 親子のふれあいを通じた心の醸成 【①-(3)】 | 担当課・係 こども政策課 幼保こども園係 |
| 施策の目的 | 親子でふれあいながら活動することにより、絆を深め子どもの心の安定を図るとともに、絵本を用いた読み聞かせ活動を通して、絵本の楽しさを深め、自己肯定感をもてるようにする。 | |
| 教育委員会による自己評価 | | |
| 令和5年度評価指標 (事業計画・目標) | ・各園の計画に従って、親子での行事として、運動会、お楽しみ会等を開催する。 ・保護者が園に出向いての読み聞かせ、保護者の有志サークルによる読み聞かせ、家庭による読み聞かせ、園の絵本貸出による読み聞かせを実施する。 | |
| 令和5年度実績評価 (施策評価) | 行事に親子で参加する機会があることで、ふれあう喜びを感じ親子関係が深まった。また、様々な方の読み聞かせを実施したことで、絵本に関心をもつことができ、心の安定が図られた。 | |
| | A | A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。 |
| 令和4年度実績評価 | 行事等の開催を通して、親子でふれあう機会となり、親子関係が深まったり心の安定を図ることができた。様々な方による読み聞かせを実施したことで、想像力が育まれた。 | |
| 今後の取組課題 又は改善点 | 保護者にも絵本を読み聞かせする大切さを伝え、読み聞かせの回数を増やせるようにする。 | |

| | | |
|------------------------|---|---|
| 施策名 (大分類) | 地域社会・私立幼稚園・保育園・認定こども園・小中学校との連携 | |
| 施策名 (中分類) | 地域社会・関係機関と連携した幼児教育の推進 【②-(1)】 | 担当課・係 こども政策課 幼保こども園係 |
| 施策の目的 | 地域の行事に園児が参加したり、防災の連携をしたりして地域との関わりを大切にする。 | |
| 教育委員会による自己評価 | | |
| 令和5年度評価指標 (事業計画・目標) | ・地域住民を夏祭り等の園行事に招待するとともに、地区センター祭り等の地域行事への参加や老人クラブとのふれあい活動を推進する。 | |
| 令和5年度実績評価 (施策評価) | 地域の方と、芋ほりやたけのこ掘り等、収穫体験をすることで、食育への興味関心が広がった。また、地区センター祭り等のふれあい活動を楽しみながら参加した。 | |
| | A | A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。 |
| 令和4年度実績評価 | 地域の方のご厚意で、一緒にたけのこ掘りや栗拾い等をし、ふれあい体験ができた。また、地域の防災訓練に参加し、地域の方との関わりができた。地区センター祭りについては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、参加を見合わせることにした。 | |
| 今後の取組課題 又は改善点 | 地域に出かける機会を増やし、様々な方との関わりを楽しみ、地域に親しみがもてるようにする。 | |

令和5年度 点検評価シート

| | | |
|------------------------|--|---|
| 施策名 (大分類) | 地域社会・私立幼稚園・保育園・認定こども園・小中学校との連携 | |
| 施策名 (中分類) | 幼稚園・保育園・認定こども園との連携 【②-(2)】 | 担当課・係 こども政策課 幼保こども園係 |
| 施策の目的 | 公立園・私立幼稚園・民間保育所・認定こども園が幼児施設連絡会での研修会や園長会を通して互いの理解を図るとともに、職員の資質向上を図る。 | |
| 教育委員会による自己評価 | | |
| 令和5年度評価指標 (事業計画・目標) | 幼児施設連絡会が主催する、園長会や各種研修会に出席し、各園や教育委員会と連携を図る。 | |
| 令和5年度実績評価 (施策評価) | 幼児施設連絡会での研修会では、共通の研修を受講することにより、共通理解しながら職員の資質向上を図ることができた。 | |
| | A | A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。 |
| 令和4年度実績評価 | 園長会での各園の情報交換や、各種研修会に参加することで、運営について配慮すべき事項の共通理解や、研修による職員の資質向上を図ることができた。 | |
| 今後の取組課題 又は改善点 | 研修を通じて課題を出しあったり、教育要領に基づいた幼児の発達を確認したり、職員が共通理解できるようにする。 | |

| | | |
|------------------------|---|---|
| 施策名 (大分類) | 地域社会・私立幼稚園・保育園・認定こども園・小中学校との連携 | |
| 施策名 (中分類) | 小中学校との交流の推進 【②-(3)】 | 担当課・係 こども政策課 幼保こども園係 |
| 施策の目的 | 生涯の人間形成の基となる幼児期の教育の重要性を多くの人に理解してもらうため、幼稚園・保育園が互いに横の連携を取りながら、子どもの育ちを小学校、中学校へとつなげる。 | |
| 教育委員会による自己評価 | | |
| 令和5年度評価指標 (事業計画・目標) | ・小学校との連携を図るため、保・幼・こ・小連絡会に出席する。また、園の公開保育を実施する。 ・教育委員会学校訪問へ参加し、学校現場の実態等について視察する。 | |
| 令和5年度実績評価 (施策評価) | 保、幼、こ、小連絡会で子どものことについて情報交換したり、園の公開保育や教育委員会学校訪問へ参加したりすることで、地域の子どもの実態把握ができた。 | |
| | A | A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。 |
| 令和4年度実績評価 | 保幼小連絡会に出席し、公開保育を実施することで、入学前の子どもの様子を共通理解し、園から小学校への接続が円滑にできた。また、小学生とのオンライン交流を行い、小学生に親しみをもつことができた。 | |
| 今後の取組課題 又は改善点 | 保、幼、こ、小連絡会で、互いに子どもの様子を参観できる場を設け、子ども理解を深め、小学校への接続がスムーズにできるようにする。 | |

| | | |
|-----------------------------------|--|--|
| 基本理念 | 「豊かな学びで歩み続ける人づくり」 | |
| 「豊かな学びで歩み続ける人」とは | ～自立した人、思いやりのある人、いつまでも学び続ける人～ | |
| 基本方針 | 2 「確かな学力、健やかな心身」の育成を目指した、知・徳・体のバランスの取れた教育の推進【学校教育】 | |
| 重点施策(大分類) | 施策(中分類) | 個別事業(事務・事業) |
| ① 小中一貫教育「学びの庭」構想の推進 (学校教育課) | (1) 地域・学校間連携の推進及び学校間交流の促進 | ア コミュニティ・スクール準備委員会の実施 |
| | | イ 学舎運営協議会の開催 |
| | | ウ 地域学校協働活動推進事業 |
| | | エ 小中一貫教育の在り方等の検討 |
| | (2) 豊かな学びを支える環境づくりの推進 | オ 保幼小中高の連携の推進 |
| | | ア 環境教育、食育、キャリア教育の推進 |
| イ 企業と連携した教育活動の推進 | | |
| ② ICT環境等を生かした魅力ある授業づくり (学校教育課) | (1) 「さくがわ21世紀型授業」の推進 | ウ 未来の部活動在り方検討会の実施 |
| | | ア 学校訪問による授業改善支援 |
| | | イ 推進校を中心とした「日常的なICT活用で実現する令和の学び」研修会の実施 |
| | | ウ 全国学力・学習状況調査の分析、学力向上対策委員会 |
| | (2) GIGAスクール構想の推進 | エ カリキュラム・マネジメントシートを活用した教科横断的な授業づくりの推進 |
| | | ア 校務の情報化の推進 |
| | | イ 菊川市情報教育モデルカリキュラムの活用 |
| | | ウ ICT推進委員会の開催 |
| ③ 思いやりに満ちた学校づくり (学校教育課) | (1) 魅力ある学校づくり | エ ICT機器の整備・更新 |
| | | ア PDCAサイクルに基づく組織的な取り組み |
| | (2) 「心の教育」の推進 | イ 新規不登校の未然防止に向けた取り組み |
| | | ア いじめ防止対策の推進 |
| | | イ 人権教育、福祉教育の実践 |
| | (3) 児童・生徒の心に寄り添う支援 | ウ 考える道徳の推進 |
| ア 教育支援センターの運営 | | |
| ④ 「一人ひとりが生きる教育」の推進 (学校教育課) | (1) 特別支援教育の推進 | イ こころの教室相談員の配置 |
| | | ア 就学支援委員会の開催 |
| | | イ 巡回相談及び教育相談の実施 |
| | | ウ 学級・学校支援員の配置 |
| | (2) 外国人児童生徒への教育支援 | エ 教職員研修の充実 |
| | | ア 外国人児童生徒就学支援 |
| | | イ 支援員の配置 |
| | (3) 安全教育の充実 | ウ 外国人担当者研修会の開催 |
| | | ア 自分の命は自分で守る学校安全 |
| イ 通学路点検の実施 | | |
| ⑤ ころざしを持った頼もしい教職員の育成 (学校教育課) | (1) 教職員育成指導 | ウ 危機管理マニュアルの見直し |
| | | ア 経験や課題に応じた研修会の実施 |
| | (2) 教職員の人事及び評価 | イ 学校訪問による教職員指導 |
| | | ア 教職員人事評価の実施 |
| | (3) 円滑な学校運営の推進 | イ 「研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励」の推進 |
| | | ア 学校評価の活用 |
| イ 教職員の働き方改革の推進 | | |
| | | ウ 危機管理意識の醸成 |

令和5年度 点検評価シート

| | | |
|------------------------|--|---|
| 施策名 (大分類) | 小中一貫教育「学びの庭」構想の推進 | |
| 施策名 (中分類) | 地域・学校間連携の推進及び学校間交流の促進【①-(1)】 | 担当課・係 学校教育課 学校政策係 |
| 施策の目的 | 小・中学校の「たての接続」と学校・地域社会の「よこの連携」、「地域の財を生かした教育」を基本理念とした「学びの庭」構想を推進する。 | |
| 教育委員会による自己評価 | | |
| 令和5年度評価指標 (事業計画・目標) | <ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫教育の在り方検討会を開催し、コミュニティ・スクールのマニュアルを作成する。 ・学舎運営協議会(岳洋・菊西・菊東)を年2回ずつ開催する。 | |
| 令和5年度実績評価 (施策評価) | <ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫教育の在り方検討会を4回開催し、令和5年12月に学舎コミュニティ・スクールの手引を作成及び関係者に配布した。 ・各学舎とも2回の学舎運営協議会を開催し、各学舎で特色や強み、課題を共有し、グループ協議を行い、各学校のアンケート調査結果を報告した。 | |
| | A | A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。 |
| 令和4年度実績評価 | 各学舎とも年間2回の学舎運営協議会を実施した。岳洋学舎においては、各部会が組織され、各々で活動が実施された。菊西学舎及び菊東学舎においては、各学校の取組状況の報告やテーマを設定し、グループ協議を行った。 | |
| 今後の取組課題 又は改善点 | 次年度より学舎運営協議会は、学校評議員制度を併せた学舎単位でのコミュニティ・スクールに移行する。これからは、地域で何ができるのか、また地域の人材を学校のどこで活用するかなど地域主体の活動を望むが、まだまだ時間がかかるものと想定される。各学舎にコーディネーターを配置し、地域と連携しながら進めていく。 | |

| | | |
|------------------------|---|---|
| 施策名 (大分類) | 小中一貫教育「学びの庭」構想の推進 | |
| 施策名 (中分類) | 豊かな学びを支える環境づくりの推進【①-(2)】 | 担当課・係 学校教育課 学校指導係 |
| 施策の目的 | 文化的体験や、菊川市の地域の力を生かし、心身共に健全な児童・生徒を育成する。 | |
| 教育委員会による自己評価 | | |
| 令和5年度評価指標 (事業計画・目標) | <ul style="list-style-type: none"> ・未来の部活動在り方検討会を年4回実施する。 ・環境教育推進研修会、食育連絡会、中学生向けの企業説明会を実施する。 | |
| 令和5年度実績評価 (施策評価) | 未来の部活動在り方検討会は臨時を含め7回開催し、スポーツ協会関係団体及び文化協会関係団体に土日の地域移行についてのアンケート調査等を実施した。また、3中学校の生徒会代表から生徒の声を聞いた。 | |
| | A | A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。 |
| 令和4年度実績評価 | 新型コロナウイルス感染症への対策をしつつ、ICT機器等を活用した実施方法をさぐり、できる範囲内で工夫をして事業を行った。中学生向けの企業説明会では、学校教育課指導主事が事前学習の講師を務め、本事業の趣旨を改めて明確にした上で、企業説明会を実施することができ、生徒が地域で働くことを身近に考える機会となった。 | |
| 今後の取組課題 又は改善点 | 部活動の土日の地域移行に向け、まずは可能となる陸上競技について専門部会を立ち上げ、試行をする中で、さまざまな課題を解決していく。 | |

令和5年度 点検評価シート

| | | |
|------------------------|---|---|
| 施策名 (大分類) | ICT環境を生かした魅力ある授業づくり | |
| 施策名 (中分類) | 「きくがわ21世紀型授業」の推進【②-(1)】 | 担当課・係 学校教育課 学校指導係 |
| 施策の目的 | 一人ひとりに「確かな学力」をつけるため、主体的・対話的で深い学びのある授業「きくがわ21世紀型授業」づくりを推進する。情報教育機器の効果的な活用について研究を進め、楽しく、分かる授業を目指す。また、全国学力・学習状況調査の分析を基に、求められている学力や菊川市の子供の課題を明確にして授業改善に取り組む。 | |
| 教育委員会による自己評価 | | |
| 令和5年度評価指標 (事業計画・目標) | <ul style="list-style-type: none"> 市内12校にて、指導主事が学校訪問による授業改善支援を行う。 「日常的なICT活用で実現する令和の学び」研修会を実施する。 全国学力・学習状況調査の分析を行い、学力向上対策委員会を開催する。 | |
| 令和5年度実績評価 (施策評価) | <ul style="list-style-type: none"> 市内12校を学校訪問し、指導・助言を行うことで、確かな学力の定着に向けた授業改善支援ができた。 「日常的なICT活用で実現する令和の学び」研修会を実施したことで、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実や、ICTを活用した授業づくりに活かすことができた。 全国学力・学習状況調査の分析を行い、学力向上対策委員会を開催したことで、本市における学力の検証や課題の明確化が図られた。 | |
| | A | A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。 |
| 令和4年度実績評価 | 研修主任研修会、教務主任研修会、初任者研修会及び学力向上対策委員会を計画通り開催した。「授業が分かる」と答える児童生徒の割合は、小学校93%・中学校87.8%であり、授業でICTを活用して指導できると答える教員は、調査項目すべてで90%を上回った。 | |
| 今後の取組課題 又は改善点 | 「ICT環境等を活かした魅力ある授業づくり」を目指して、引き続きICT、特にクラウドを活用した授業改善をさらに進めていく必要がある。 | |

| | | |
|------------------------|---|---|
| 施策名 (大分類) | ICT環境を生かした魅力ある授業づくり | |
| 施策名 (中分類) | GIGAスクール構想の推進【②-(2)】 | 担当課・係 学校教育課 学校政策係 |
| 施策の目的 | 情報教育機器を効果的に活用し、一人ひとりに「確かな学力」をつけるため、主体的・対話的で深い学びのある「きくがわ21世紀型授業」づくりを推進する。 | |
| 教育委員会による自己評価 | | |
| 令和5年度評価指標 (事業計画・目標) | <ul style="list-style-type: none"> 市内小中学校6校(小笠東小、小笠南小、小笠北小、岳洋中、菊川西中、菊川東中)における無線LANの機器更新及び増設を行う。 ICT推進委員会を年3回実施する。 | |
| 令和5年度実績評価 (施策評価) | <ul style="list-style-type: none"> 市内小中学校6校(小笠東小、小笠南小、小笠北小、岳洋中、菊川西中、菊川東中)における無線LANの機器更新及び増設を行うことで、校内のネットワーク環境を改善することができた。 ICT推進委員会を年3回実施したことで、市としてのICT活用の方向性の共有や、授業における有効的なICT機器の活用方法を検証することができた。 | |
| | A | A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。 |
| 令和4年度実績評価 | ICT推進委員会を5月、10月、1月の計3回実施した。各校においてICT推進委員が中心となって、菊川市の一人一台端末の活用における成果と課題を協議し、今後のさらなる活用に向けた環境整備についての検討と効果的な授業の在り方について理解を深めることができた。また、学舎ごとのグループワークを通じて、学舎ごとの取り組みを考えることもできた。 | |
| 今後の取組課題 又は改善点 | 今回工事を実施しなかった6小学校の校内ネットワーク機器を更新する必要がある。ICT推進委員会は、GIGAスクール構想を更に推進するため、回数を増加して開催していく。 | |

令和5年度 点検評価シート

| | | |
|--------------|---|----------------------|
| 施策名 (大分類) | 思いやりに満ちた学校づくり | |
| 施策名 (中分類) | 魅力ある学校づくり【③-(1)】 | 担当課・係 学校教育課 学校指導係 |
| 施策の目的 | 思いやりに満ちた学校づくりを進めるために、人権教育や福祉教育の実践を進め、いじめのない学校経営を推進する。 | |

教育委員会による自己評価

| | | |
|------------------------|--|---|
| 令和5年度評価指標 (事業計画・目標) | ・魅力ある学校づくり研修会を年3回実施する。 | |
| 令和5年度実績評価 (施策評価) | 魅力ある学校づくり研修会を年3回実施した。不登校対策において未然防止と初期対応が重要であることを各学校担当者と再確認した。各小中学校の取組を共有するとともに、PDCA サイクルを意識して次年度へ向けた取組を計画した。 | |
| | A | A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。 |
| 令和4年度実績評価 | 魅力ある学校づくり研修会を年3回、学び続ける教員研修会を1回開催した。魅力ある学校づくりに取り組むことで、不登校対策においては未然防止と初期対応が重要であることを市内全教職員で再確認できた。また、第2回魅力ある学校づくり研修会を岳洋中学校で開催し、令和元年度よりモデル地区として実践を積んできた岳洋中学校の取組と生徒の実態を共有することで、各校担当者が実践を広め、自校の教育活動を子どもたちの声をもとに見直す視点を持つことができた。 | |
| 今後の取組課題 又は改善点 | 生徒指導提要が改訂されたため、各校で改定内容と実践を結びつけて取り組むことができるよう研修を行い、周知徹底していく。 | |

| | | |
|--------------|---|----------------------|
| 施策名 (大分類) | 思いやりに満ちた学校づくり | |
| 施策名 (中分類) | 「心の教育」の推進【③-(2)】 | 担当課・係 学校教育課 学校指導係 |
| 施策の目的 | 特別な教科・道徳の完全実施に向けて、道徳科の指導が確実に実施されるように、また、質の高い指導方法や評価についての研究を進めながら授業実践を進める。 | |

教育委員会による自己評価

| | | |
|------------------------|---|---|
| 令和5年度評価指標 (事業計画・目標) | ・いじめ問題対策連絡協議会、いじめ問題調査委員会を各1回実施する。 | |
| 令和5年度実績評価 (施策評価) | いじめ問題対策連絡協議会、いじめ問題調査委員会を各1回ずつ実施した。それぞれの会で菊川市の不登校の現状を周知するとともに、条例の制定内容を共通理解した。 | |
| | A | A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。 |
| 令和4年度実績評価 | 教務主任研修会で、道徳教育の全体計画も含めたカリキュラムマネジメントシートの作成を行った。また、年間指導計画、教材、指導方法、評価については道徳科を含め全教科分において提出を依頼し、共有した。これらにより、特別な教科である道徳への理解が深まった。 | |
| 今後の取組課題 又は改善点 | 菊川市のいじめ防止対策基本方針を見直し、条例に沿った内容とする。実際に重大事態と認定した際の具体的な動きについて、各会で共通理解する。 | |

令和5年度 点検評価シート

| | | | | |
|------------------------|---|----------------------------|----------|---|
| 施策名 (大分類) | 思いやりに満ちた学校づくり | | | |
| 施策名 (中分類) | 児童・生徒の心に寄り添う支援【③-(3)】 | 担当課・係 学校教育課 学校指導係・学校政策係 | | |
| 施策の目的 | 一人ひとりに寄り添った支援を推進する。 | | | |
| 教育委員会による自己評価 | | | | |
| 令和5年度評価指標 (事業計画・目標) | <ul style="list-style-type: none"> ・教育支援センター「このゆびと～まれ」を運営する。 ・市内3中学校に、心の教室相談員を配置する。 | | | |
| 令和5年度実績評価 (施策評価) | <p>教育支援センターにおいては、定期的に19人の児童生徒が利用した。また、17件の教育相談を受け、児童・生徒・保護者にとって、気軽に相談できる場であった。市内3中学校に心の教室相談員を配置し、各校において生徒の相談にのったり、別室登校の生徒への対応をしたりするなどした。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">A</td> <td> A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。 </td> </tr> </table> | | A | A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。 |
| A | A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。 | | | |
| 令和4年度実績評価 | <p>適応指導教室においては、定期的に教室を利用した児童生徒19人のうち、19人を学校復帰及び上級学校進学につなげることができた。また、23件の教育相談を受け、児童・生徒・保護者にとって、気軽に相談できる場であるとともに、通う子どもにとって「心がほっとする、心の居場所」となった。市内3中学校に心の教室相談員を配置し、各校において生徒の相談にのったり、別室登校の生徒への対応をしたりするなどした。</p> | | | |
| 今後の取組課題 又は改善点 | <p>教育支援センターのセンター的な機能をより強め、1名増員した相談員と3中学校の相談員と連携しながら、研修や情報共有を図りながら不登校対策に取り組んでいく。</p> | | | |

令和5年度 点検評価シート

| | | |
|------------------------|---|--|
| 施策名 (大分類) | 「一人ひとりが生きる教育」の推進 | |
| 施策名 (中分類) | 特別支援教育の推進【④-(1)】 | 担当課・係 学校教育課 学校指導係 |
| 施策の目的 | 育児や発育に対して支援の必要な全てのの子供のために、個を大切にした教育をさらに推進し、心の教育を充実させて、「一人ひとりが生きる教育」を進めていく。各園・学校における体制整備及び関係部局や機関の連携協力を図り、教育・医療・保健・福祉・労働との連携を強化し、乳幼児期から就労に至るまでの一貫した支援体制を整備する。 | |
| 教育委員会による自己評価 | | |
| 令和5年度評価指標 (事業計画・目標) | <ul style="list-style-type: none"> ・就学支援委員会を年5回開催する。 ・巡回相談員による巡回相談を各校年2回実施する。 ・特別支援コーディネーター研修会、特別支援学級担任や支援員等への研修会を開催する。 | |
| 令和5年度実績評価 (施策評価) | <p>就学支援委員会を5回開催し、対象幼児・児童・生徒の次年度の就学先について審議を行った。巡回相談員による巡回相談は各校2回、計12回行い、特別な支援を必要とする児童生徒の支援・指導の方法等についての助言をした。また、各校でより良い支援・指導ができるよう、特別支援教育コーディネーター研修会、特別支援教育研修会、支援員等研修会を行った。</p> | |
| | A | <p>A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。</p> |
| 令和4年度実績評価 | <p>すべての小中学校に学級学校支援員を配置し、各校のニーズに応じた支援を行った。適切な就学支援を行うために、学校・園訪問等をして園児児童生徒の状況を把握し、保護者に情報提供したり相談に応じたりした。また、園児については保護者・園担任等との特別支援学級見学に同行し、情報共有に努めた。</p> | |
| 今後の取組課題 又は改善点 | <p>特別な支援を必要とする園児児童生徒が増加する中、一人ひとりのニーズに合った支援・指導を適切に行う必要がある。</p> | |

| | | |
|------------------------|--|--|
| 施策名 (大分類) | 「一人ひとりが生きる教育」の推進 | |
| 施策名 (中分類) | 外国人児童生徒への教育支援【④-(2)】 | 担当課・係 学校教育課 学校指導係 |
| 施策の目的 | 外国人児童生徒の在籍する学校に支援員を配置し、日本語指導とともに学習・生活支援を行い、校内での学習や学校生活が円滑に進むようにする。「学校が楽しい」と答える児童生徒を90%以上とする。 | |
| 教育委員会による自己評価 | | |
| 令和5年度評価指標 (事業計画・目標) | <ul style="list-style-type: none"> ・小笠3市で「虹の架け橋」に委託し、外国人児童生徒への日本語初期支援を実施する。 ・外国人担当者研修会を開催する。 | |
| 令和5年度実績評価 (施策評価) | <p>「虹の架け橋」での日本語初期指導を実施し、小笠3市の小中学校に32人が編入した。菊川市の小中学校には18人の児童生徒が編入した。また、各校の外国人児童生徒担当や支援員等を対象とした外国人児童生徒担当者研修会を開催し、講師による講義やグループワークを行った。</p> | |
| | A | <p>A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。</p> |
| 令和4年度実績評価 | <p>外国人担当者研修会を実施し、県日本語支援コーディネーターからの講話をもとに、日本語支援についての理解を深めることができた。また、支援が必要な外国籍児童生徒に対し、各学校への支援員の配置や「虹の架け橋」入級により学校生活に適応しやすい環境づくりが図られた。「学校が楽しい」と答えた児童92.9%、生徒95.5%であった。</p> | |
| 今後の取組課題 又は改善点 | <p>外国人児童生徒の編入が増加する中、児童生徒への支援体制や教職員・支援員等への研修をさらに充実させ、学校体制で支援・指導する必要がある。</p> | |

令和5年度 点検評価シート

| | | |
|------------------------|---|--|
| 施策名 (大分類) | 「一人ひとりが生きる教育」の推進 | |
| 施策名 (中分類) | 安全教育の充実【④-(3)】 | 担当課・係 学校教育課 学校指導係・学校政策係 |
| 施策の目的 | 安心して学校に通える環境づくりを進めるために、学校の危機管理体制の向上を図り、児童生徒の安全意識を高める。 | |
| 教育委員会による自己評価 | | |
| 令和5年度評価指標 (事業計画・目標) | <ul style="list-style-type: none"> ・学校安全総合支援事業を活用し、防災教育等の推進を図る。 ・通学路安全点検及び通学路安全対策検討会を実施する。 | |
| 令和5年度実績評価 (施策評価) | <p>学校の通学路安全点検体制の整備として、①常葉大学木宮教授を招いて交通安全対策の講話を開催、②実際の通学路点検に木宮教授に同行いただき交通安全の助言、③実際に点検した通学路箇所をデジタルマップとして市ホームページに公開、④統一した通学路点検マニュアルの作成を実施した。</p> | |
| | A | <p>A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。</p> |
| 令和4年度実績評価 | <p>学校の危機管理体制の整備として、①常葉大学木宮先生を招いて各学校の防災マニュアルを比較し、改善点の洗い出し、②学び続ける研修会を開催し、教職員に対する基本的な知識の植え付け、③東北大学保田講師を招いて減災教育の実施、④被災体験の講演会を実施した。 また、全小学校において、通学路安全点検を行い、それを基に通学路安全対策検討委員会を開催し、教育委員会と警察、道路管理者等で市内全体の安全対策を検討し、対策を実施した。</p> | |
| 今後の取組課題 又は改善点 | <p>毎年度通学路点検を実施した後に、デジタルマップの更新や関係者との協議の上、マニュアルの更新が必要となる。</p> | |

| | | |
|------------------------|---|--|
| 施策名 (大分類) | こころざしを持った頼もしい教職員の育成 | |
| 施策名 (中分類) | 教職員育成指導【⑤-(1)】 | 担当課・係 学校教育課 学校指導係 |
| 施策の目的 | <p>児童生徒、保護者や地域から信頼される教職員を育成するために、各種研修会を開催するとともに、学校訪問による教職員指導を実施する。(「学校に信頼することのできる先生がいる」と答える児童生徒の割合、小学校91%中学校85%以上を目指す。)</p> | |
| 教育委員会による自己評価 | | |
| 令和5年度評価指標 (事業計画・目標) | <ul style="list-style-type: none"> ・学び続ける教員研修を実施する。 ・初任者研等の経年研修や、教頭、研修主任、教務主任等の役職研修を実施する。 | |
| 令和5年度実績評価 (施策評価) | <p>学び続ける教員研修では、7割を超える教職員が自主的に参加をし、積極的に取り組むことができた。更に、教職員が自ら講座を開催し、自分の実践を広める活動ができた。 経年研修や役職研修については、年間を通して計画的に実施することができた。</p> | |
| | A | <p>A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。</p> |
| 令和4年度実績評価 | <p>各種研修会の実施や学校訪問指導により、教職員の資質を高めるとともに、信頼される学校づくりができた。「学校に信頼することのできる先生がいる」と答える児童生徒の割合は、小学校94.8%、中学校88.9%であり、小中学校ともに、目標値を上回ることができた。</p> | |
| 今後の取組課題 又は改善点 | <p>各研修会において、それぞれの職に応じて、さらなる力量の向上を目指していけるよう、研修内容を吟味して行う。</p> | |

令和5年度 点検評価シート

| | | |
|------------------------|---|---|
| 施策名 (大分類) | こころざしを持った頼もしい教職員の育成 | |
| 施策名 (中分類) | 教職員の人事及び評価【⑤-(2)】 | 担当課・係 学校教育課 学校指導係 |
| 施策の目的 | 新たな人事評価により、教職員の前向きな取り組みを促し、資質能力の向上や組織の活性化につなげる。また、教職員免許更新制度を利用し、教職員の指導力向上に努める。 | |
| 教育委員会による自己評価 | | |
| 令和5年度評価指標 (事業計画・目標) | ・教職員人事評価における自己目標シート及び職務評価シートの活用並びに管理職による面談を実施する。 ・教育免許更新制廃止に伴う新たな研修制度について、教員への受講奨励を行う。 | |
| 令和5年度実績評価 (施策評価) | 市内全ての学校において管理職による面談を実施し、教職員の思いを聞いたりフィードバックを丁寧に行ったりすることで、支援・指導につなげることができた。 | |
| | A | A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。 |
| 令和4年度実績評価 | 教職員人事評価は、夏に校長面談を実施し、年度末にも二度目の校長面談を実施することで、適正に行うことができた。また、教員免許更新制が廃止となり、令和5年度から新たな教員研修が義務付けられることに伴い、正確な情報収集に努め、教員への周知を行った。 | |
| 今後の取組課題 又は改善点 | 令和6年度より新たな研修制度となるため、全教員への周知徹底を図り、正確な情報を提供していく必要がある。 | |

| | | |
|------------------------|---|---|
| 施策名 (大分類) | こころざしを持った頼もしい教職員の育成 | |
| 施策名 (中分類) | 円滑な学校運営の推進【⑤-(3)】 | 担当課・係 学校教育課 学校指導係 |
| 施策の目的 | 学校評価を活用するとともに、地域との連携を密にすることにより、円滑な学校運営を推進し、地域から信頼される学校経営を実施する。 | |
| 教育委員会による自己評価 | | |
| 令和5年度評価指標 (事業計画・目標) | ・各校で学校評価を行い、学校運営改善に活かすとともに、評価結果を各学校ホームページ等により公開する。 | |
| 令和5年度実績評価 (施策評価) | 全小中学校において保護者、児童生徒、学校職員で年間2回学校評価を行った。その評価結果を学校だよりやホームページで発信したり、学校評議員会で活用したりして学校運営に生かした。 | |
| | A | A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。 |
| 令和4年度実績評価 | 全小中学校において各学校の経営方針や重点的な活動について、学校職員・児童生徒・保護者の3者での学校評価を年2回行った。評価結果によりPDCAサイクルを生かした学校運営を行った。評価結果については、学校だよりとして保護者・地域に発信するとともに全校ホームページで公開している。 | |
| 今後の取組課題 又は改善点 | 肯定的な回答が多く、順調な学校運営が行われている中、強肯定の割合に注視していくことで、更なる向上を図っていききたい。 | |

| | | |
|------------------------------------|--|---------------------------------------|
| 基本理念 | 「豊かな学びで歩み続ける人づくり」 | |
| 「豊かな学びで歩み続ける人」とは | ～自立した人、思いやりのある人、いつまでも学び続ける人～ | |
| 基本方針 | 2 「確かな学力、健やかな心身」の育成を目指した、知・徳・体のバランスの取れた教育の推進【学校教育】 | |
| 重点施策(大分類) | 施策(中分類) | 個別事業(事務・事業) |
| ⑥ 学校施設の適正な維持管理・耐震化・長寿命化 (教育総務課) | (1) 学校施設の適正な維持管理 | ア 学校施設・設備の維持管理 イ 国庫及び県費補助・市単独事業の実施 |
| | (2) 学校施設整備 | ア 六郷小学校昇降口棟耐震補強・屋上防水工事 |
| | (3) 学校施設の長寿命化 | ア 施設整備計画の推進 |
| ⑦ 安全で安心して教育が受けられる環境づくり (教育総務課) | (1) 教室環境の整備 | ア 河城小学校及び菊川東中学校屋内運動場照明取替工事(LED化) |
| | (2) 家庭への支援 | ア 就学支援事業の実施 イ 特別支援教育就学奨励事業の実施 |
| ⑧ 安全でおいしい給食の安定的な提供 (教育総務課) | (1) 安心・安全なおいしい給食作りの実施 | ア 給食献立作り及び使用食材の発注 |
| | | イ 食物アレルギーへの対応 |
| | | ウ 民間委託による安定した調理業務の実施 |
| | (2) 食育及び地産地消の推進 | ア 栄養士による食育指導の実施 |
| | | イ ふるさと給食週間等の実施による地産地消の推進 |
| | (3) 安定した給食業務の実施 | ア 給食食数管理及び給食会計処理の実施 |
| イ 給食センター施設の維持管理の実施 | | |

令和5年度 点検評価シート

| | | | | |
|------------------------|--|--------------------|----------|---|
| 施策名 (大分類) | 学校施設の適正な維持管理・耐震化・長寿命化 | | | |
| 施策名 (中分類) | 学校施設の適正な維持管理 【⑥-(1)】 | 担当課・係 教育総務課 施設係 | | |
| 施策の目的 | 小・中学校の教育活動が支障なく行われるよう、学校教育環境の計画的な整備を実施する。また、学校環境を良好な状態に保つため、施設や設備の適切な維持管理を実施する。 | | | |
| 教育委員会による自己評価 | | | | |
| 令和5年度評価指標 (事業計画・目標) | <ul style="list-style-type: none"> ・小中学校の施設の維持管理を適切に行う。また、法令に基づく点検作業や営繕を実施する。 ・小規模な施設整備工事や営繕工事を計画的かつ効率的に実施する。 | | | |
| 令和5年度実績評価 (施策評価) | <p>計画的かつ効率的な発注を実施、児童・生徒の安全を最優先に事業実施できた。また、小笠北小学校、河城小学校及び岳洋中学校において、県費補助を活用し経年劣化したガラス飛散防止フィルムの張替えを実施し、施設・設備の健全化が図られた。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">A</td> <td> A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。 </td> </tr> </table> | | A | A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。 |
| A | A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。 | | | |
| 令和4年度実績評価 | 計画的かつ効率的な発注を実施、児童・生徒の安全を最優先に事業実施できた。また、小笠北小学校及び岳洋中学校において、県費補助を活用し経年劣化したガラス飛散防止フィルムの張替えを実施し、施設・設備の健全化が図られた。 | | | |
| 今後の取組課題 又は改善点 | 法定点検や営繕により、学校運営上の問題は無いが、設置年数の観点等から経年劣化等による不具合が発生することを想定した対策も必要となる。 | | | |

| | | | | |
|------------------------|--|--------------------|----------|---|
| 施策名 (大分類) | 学校施設の適正な維持管理・耐震化・長寿命化 | | | |
| 施策名 (中分類) | 学校施設整備 【⑥-(2)】 | 担当課・係 教育総務課 施設係 | | |
| 施策の目的 | 耐震力がやや劣る校舎の耐震補強に併せ、トイレの洋式化やLED照明への改修を実施し、良好な教育環境の確保に努める。 | | | |
| 教育委員会による自己評価 | | | | |
| 令和5年度評価指標 (事業計画・目標) | <ul style="list-style-type: none"> ・六郷小学校昇降口棟の耐震補強及び屋上防水改修工事を実施する。 ・河城小学校及び菊川東中学校における校舎への多機能トイレ設置、屋内運動場における照明取替工事(LED化)及びトイレ洋式化工事を実施する。 | | | |
| 令和5年度実績評価 (施策評価) | <p>六郷小学校昇降口棟の耐震補強及び屋上防水改修工事を実施したことにより、安全・安心な教育環境が確保できた。</p> <p>河城小学校及び菊川東中学校における校舎への多機能トイレ設置、屋内運動場における照明取替工事(LED化)及びトイレ洋式化工事を実施したことにより、良好な教育環境が確保できた。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">A</td> <td> A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。 </td> </tr> </table> | | A | A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。 |
| A | A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。 | | | |
| 令和4年度実績評価 | 小笠東小学校校舎耐震補強・大規模改造工事を実施したことにより、耐震性の向上に加え、良好な教育環境が確保できた。 | | | |
| 今後の取組課題 又は改善点 | 水銀灯の製造中止に伴う、屋内運動場における照明取替工事(LED化)を実施するとともに、学校図書館等の特別教室への空調設備設置やトイレの洋式化についても、計画的に進めていく必要がある。 | | | |

令和5年度 点検評価シート

| | | |
|------------------------|---|---|
| 施策名 (大分類) | 安全で安心して教育が受けられる環境づくり | |
| 施策名 (中分類) | 教室環境の整備 【⑦-(1)】 | 担当課・係 教育総務課 施設係 |
| 施策の目的 | 児童生徒が健やかに伸びていく学校環境の充実に向け、教育課程に基づいた授業等に必要な教材・教具等を効率的に購入する。 | |
| 教育委員会による自己評価 | | |
| 令和5年度評価指標 (事業計画・目標) | <ul style="list-style-type: none"> ・教育環境を良好に保ち、円滑な学校教育を推進するため、必要な備品の整備を行う。 ・令和5年10月末までに、屋内運動場におけるLED照明への取替工事の整備スケジュール等の方針を決定する。 | |
| 令和5年度実績評価 (施策評価) | 教育環境を良好に保ち、円滑な学校教育を推進するため、机椅子等の必要な備品の整備を行った。屋内運動場におけるLED照明への取替工事の整備スケジュールは、令和6年度に3校実施し、令和7年度に5校実施することで、全校を完了する方針を決定した。 | |
| | A | A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。 |
| 令和4年度実績評価 | 市内5小学校において、屋内運動場照明取替工事(LED化)工事実施設計業務委託を実施し、屋内運動場への照明取替(LED化)に伴う整備方針及び整備費用等の検討を行った。 | |
| 今後の取組課題 又は改善点 | 築40年を超える学校校舎で、必要な改修工事が未実施の棟について長寿命化計画に基づいた整備スケジュールの決定が不可欠である。 | |

| | | |
|------------------------|---|---|
| 施策名 (大分類) | 安全で安心して教育が受けられる環境づくり | |
| 施策名 (中分類) | 家庭への支援 【⑦-(2)】 | 担当課・係 教育総務課 総務係 |
| 施策の目的 | 学校教育の機会均等の精神に基づき、経済的理由等により就学が困難な家庭に対し、学用品費や通学用品費、学校給食費などを援助し、保護者の経済的な負担軽減及び円滑な就学を図る。 | |
| 教育委員会による自己評価 | | |
| 令和5年度評価指標 (事業計画・目標) | <ul style="list-style-type: none"> ・経済的な理由により、就学が困難な児童生徒の保護者に対し、就学援助費を支給する。 ・特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者に対し、特別支援教育就学奨励費を支給する。 | |
| 令和5年度実績評価 (施策評価) | 就学援助費については、支給対象者272名(R4:236名、36名増)に対し、就学に必要な費用の一部を援助することで、保護者の経済的負担を軽減するとともに、円滑な就学を図ることができた。また、特別支援教育就学奨励費については、特別支援学級に在籍する生徒の保護者の内、支給対象者141名(R4:119名、22名増)に対し、就学に必要な費用の一部を支援することで、保護者の経済的負担を軽減するとともに、特別支援教育の普及奨励を図ることができた。 | |
| | A | A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。 |
| 令和4年度実績評価 | 就学援助費については、令和3年度の実績と比較し、支給額は3,465千円増(R3:15,520千円、R4:18,985千円)、支給対象者は17名増(R3:219名、R4:236名)となった。また、特別支援教育就学奨励費については、令和3年度の実績と比較し、支給額では579千円増(R3:3,908千円、R4:4,487千円)、支給対象者は14名増(R3:105名、R4:119名)となった。 | |
| 今後の取組課題 又は改善点 | 国が策定した標準仕様書に基づく「就学援助システム」を令和8年2月から稼働できるよう、令和6年度は、Fit&Gap(現行の事務と標準仕様との差を分析し、標準仕様に合わせて作業)の実施やデータ移行準備、例規改正等に取り組む。 | |

令和5年度 点検評価シート

| | | |
|--------------|---|------------------------|
| 施策名 (大分類) | 安全でおいしい給食の安定的な提供 | |
| 施策名 (中分類) | 安心・安全なおいしい給食作りの実施【⑧-(1)】 | 担当課・係 教育総務課 給食センター係 |
| 施策の目的 | 学校給食における衛生管理体制を徹底し、児童生徒に安心安全なおいしい給食を提供する。 | |

教育委員会による自己評価

| | | | | |
|------------------------|--|--|----------|---|
| 令和5年度評価指標 (事業計画・目標) | <ul style="list-style-type: none"> 年間給食残食率が4.0%以下になることを目標とする。 給食センターの調理・配送等の民間委託について、令和5年度が最終年度となることから、令和6年度以降の委託業者を決定する。 | | | |
| 令和5年度実績評価 (施策評価) | <p>新型コロナウイルス感染症の拡大防止により、給食の食べ方や配膳方法が変わった影響が続いており、それらが残食率の増加(令和5年度残食率5.72%)へ繋がり、目標の4.0%以下を達成することができなかった。給食センターの調理・配送等の民間委託についてプロポーザル方式による選定を行い、令和6年度以降の委託業者を決定することができた。</p> <table border="1"> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">B</td> <td> A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。 </td> </tr> </table> | | B | A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。 |
| B | A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。 | | | |
| 令和4年度実績評価 | <p>新型コロナウイルス感染症の拡大防止に伴い、給食の食べ方や配膳方法が変わり残食率が増加し、目標の3%以下は達成することができなかった。また、調理作業前の朝礼時に衛生面の情報提供をし、職員全体の衛生管理意識の向上に役立てることができた。献立会議を月1回、調理打合せ会を随時実施し、新たなメニューの考案・提供等にも努めた。</p> | | | |
| 今後の取組課題 又は改善点 | <p>給食センターでは安心安全な給食を提供するため、委託先との密接な連携のもと、安全な物資の調達、衛生管理の徹底を図り、職員全員が同じ意識を持ち進めていく。また、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことから、給食の食べ方や配膳方法が通常に戻ることや、食に関する指導などで栄養教諭と連携して食の大切さを伝え、残食減少に繋げる。</p> | | | |

| | | |
|--------------|---|------------------------|
| 施策名 (大分類) | 安全でおいしい給食の安定的な提供 | |
| 施策名 (中分類) | 食育及び地産地消の推進【⑧-(2)】 | 担当課・係 教育総務課 給食センター係 |
| 施策の目的 | 学校給食を通じて成長期にある児童生徒が、望ましい食生活の形成や好ましい人間関係の育成が図られることを目的に、食育推進事業を進めていく。また、安心安全で新鮮な食材となる地場産品の給食への使用拡大を図り、食育推進に繋げていく。 | |

教育委員会による自己評価

| | | | | |
|------------------------|---|--|----------|---|
| 令和5年度評価指標 (事業計画・目標) | <ul style="list-style-type: none"> 栄養教諭による「食に関する指導」を小中学校等で実施する。 「ふるさと給食週間」を年に3回実施し、毎月「ふじのくに地産地消の日」である23日を中心に地元食材を活用したメニューを1品提供するとともに、地産地消推進会議を年2回実施する。 | | | |
| 令和5年度実績評価 (施策評価) | <p>学校教育課や小中学校等と連携を取り合いながら、栄養教諭による「食に関する指導」を実施することができた。また、「ふるさと給食週間」を年に3回実施し、毎月「ふじのくに地産地消の日」である23日を中心に地元食材を活用したメニューを1品提供するとともに、地産地消推進会議を年2回実施することができた。</p> <table border="1"> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">A</td> <td> A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。 </td> </tr> </table> | | A | A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。 |
| A | A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。 | | | |
| 令和4年度実績評価 | <p>「食に関する指導全体計画」を基本として、学校教育課や小中学校等と連携を取り合いながら、栄養教諭による食育の推進を行うことができた。また、「ふるさと給食週間(年3回)」、「地産地消の日(月1回)」において市内産農作物を献立に取り込むとともに、年間を通じて地場産の野菜・味噌・茶や主食となる米を給食に使用し、地産地消推進の拡大に繋げることができた。また、高校生考案の市内農産物を使った新商品ビジネスマッチングに参加し、市内産芽キャベツを使った新たなメニューを学校給食で提供することができた。</p> | | | |
| 今後の取組課題 又は改善点 | <p>今後も地産地消推進会議を開催し、給食への地場産品使用拡大について意見交換を行う。また、生産者や関係者の協力により市内農産物を活用した新たな献立や食材の製品化を検討し、地産地消の推進に役立てていくことが必要となっている。</p> | | | |

令和5年度 点検評価シート

| | | |
|------------------------|---|--|
| 施策名 (大分類) | 安全でおいしい給食の安定的な提供 | |
| 施策名 (中分類) | 安定した給食業務の実施 【⑧-(3)】 | 担当課・係 教育総務課 給食センター係 |
| 施策の目的 | 安心安全な学校給食作りを推進するために、安定した給食業務(給食食数の管理、給食会計、施設の維持管理等)の実施を図る。 | |
| 教育委員会による自己評価 | | |
| 令和5年度評価指標 (事業計画・目標) | <ul style="list-style-type: none"> ・学校給食センター運営委員会を年2回実施する。 ・小中学校等と連携し、給食費未納者に対して徴収を働きかける。 ・給食調理器具、食器洗浄機、付属施設等の維持管理を適正に行うとともに、劣化の激しい給食用備等品を計画的に更新する。 | |
| 令和5年度実績評価 (施策評価) | <p>学校給食センター運営委員会を年2回実施し、給食に関する各種意見を聴取することができた。小中学校等と連携し、給食費未納者に対して徴収を働きかけた結果、本年度(5月14日時点)は99.94%とすることができた。また、委託業者と情報共有しながら給食調理器具、食器洗浄機、付属施設等の維持管理を適正に行うとともに、劣化の激しい給食用備等品を計画的に更新することができた。</p> | |
| | A | <p>A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。</p> |
| 令和4年度実績評価 | <p>安定した給食業務を実施するため、各小中学校と連携を取りながら給食事務・給食会計処理等を進め、現年度の徴収率(3月末)については、前年度99.92%であったが、本年度は99.90%となった。なお、物価高騰に伴い職員分の追加徴収があったことから徴収率(3月末)が低下しているが、出納閉鎖となる5月末には前年度と同程度となると見込んでいる。また、厨房施設の維持管理を適切に実施し、事故やトラブルなく給食作りを行うことができた。</p> | |
| 今後の取組課題 又は改善点 | <p>給食費完全納付に向けて、給食センターと学校等との連携をさらに強化し、家庭環境などの情報を共有化して、未納対策に取り組む必要がある。</p> | |

| | | | |
|--------------------------------|--|--------------------------|-----------------|
| 基本理念 | 「豊かな学びで歩み続ける人づくり」 | | |
| 「豊かな学びで歩み続ける人」とは | ～自立した人、思いやりのある人、いつまでも学び続ける人～ | | |
| 基本方針 | 3 市民一人ひとりが心豊かで充実した人生を送ることができる社会教育の推進【社会教育】 | | |
| 重点施策(大分類) | 施策(中分類) | 個別事業(事務・事業) | |
| ① 地域で子どもを守り育てる活動の推進 (社会教育課) | (1) 住民主導による子どもの健やかな成長を育む組織づくり | ア 青少年健全育成市民会議活動の推進 | |
| | | イ 街頭生活指導の実施 | |
| | | ウ 菊川市子ども会連合会等の青少年団体活動の支援 | |
| | (2) 地域と学校の連携 | ア 社会教育委員による地域連携活動の推進 | |
| | | イ 中学生ふるさと未来塾の実施 | |
| | (3) 豊かな感性と社会性を育む活動の推進 | ア ボランティア体験活動支援センターの運営 | |
| | | イ 活動級別認定の実施及び表彰 | |
| | (4) 豊かな感性と社会性を育む体験活動の推進 | ア ときどきフェスティバルの開催 | |
| | | イ 小谷村地域間交流体験教室の開催 | |
| | | ウ はたちの集いの開催 | |
| | (5) 新・放課後子ども総合プランの推進 | ア 放課後子ども教室の実施 | |
| | | イ 放課後子ども教室と放課後児童クラブとの連携 | |
| | ② 家庭の教育力向上 (社会教育課) | (1) 家庭教育の推進 | ア 家庭教育学級の開設委託 |
| | | | イ 家庭教育支援員の派遣・推薦 |
| | ③ 生涯学習活動の推進 (社会教育課) | (1) 生涯学習活動の推進 | ア 生涯学習情報の提供 |
| イ 生涯学習推進員研修会の開催 | | | |
| ウ 生涯学習講座の開催 | | | |

| | | |
|-----------------------------|--|--|
| 基本理念 | 「豊かな学びで歩み続ける人づくり」 | |
| 「豊かな学びで歩み続ける人」とは | ～自立した人、思いやりのある人、いつまでも学び続ける人～ | |
| 基本方針 | 3 市民一人ひとりが心豊かで充実した人生を送ることができる社会教育の推進【社会教育】 | |
| 重点施策(大分類) | 施策(中分類) | 個別事業(事務・事業) |
| ④ 鑑賞機会の提供 (社会教育課) | (1) アエル指定管理者との連携 | ア 芸術文化振興事業の委託 |
| | | イ 文化会館アエル運営委員会の開催 |
| ④ 鑑賞機会の提供 (社会教育課) | (2) アエルの計画的な施設の改修 | ア 大ホール舞台吊物機構改修工事設計業務委託の実施 |
| | | イ 大ホール舞台照明負荷設備更新工事、空調吸収冷温水機分解整備工事、受電設備改修工事の実施 |
| ⑤ 市民の文化・芸術活動への支援 (社会教育課) | (1) 文化芸術活動の振興 | ア 文化祭、絵画コンクール、書き初め展の開催委託 |
| | | イ 文化協会活動の支援 |
| | | ウ 芸術文化大会等への出場者(団体)の顕彰 |
| | | エ 文芸誌の編集・刊行 |
| | (2) 中央公民館の管理・運営 | ア 公民館施設の維持管理 |
| | | イ 公民館施設の貸出 |
| | (3) 文化振興計画の推進 | ア 文化振興計画の推進及び検証 |
| | | イ 歴史検定事業の教本の作成 |
| | | ウ 地域資源を生かした文化資源交流事業の検討、獅子ヶ鼻砦整備への協力、ウォーキングイベントの開催 |
| | | |
| ⑥ 文化財の保存・周知・活用 (社会教育課) | (1) 文化財の保護 | ア 文化財保護審議会の開催、文化財の指定への調査 |
| | | イ 国指定文化財等の維持管理及び整備 |
| | | ウ 文化財防火訓練の実施 |
| | (2) 文化・顕彰活動支援 | ア 指定無形民俗文化財の伝承及び活用に対する補助 |
| | | イ 地域文化財活動団体への支援 |
| | | ウ 関口隆吉氏顕彰事業 |
| | (3) 文化財の活用 | ア 黒田家代官屋敷資料館の運営、資料展示委託の実施 |
| | | イ 街道画及び埋蔵文化財等の展示・活用 |
| | | ウ 埋蔵文化財センターの運営・管理 |
| | | エ 塩の道公園の管理 |
| | (4) 史跡の管理・活用 | ア 史跡菊川城館遺跡群整備委員会の開催 |
| | | イ 史跡菊川城館遺跡群整備事業実施設計委託の実施、樹木維持管理計画の策定 |
| | (5) 開発に伴う埋蔵文化財の保護・管理 | ア 周知の埋蔵文化財包蔵地の新規登録、範囲変更及び調査履歴等の更新 |
| | | イ 各種開発による試掘・確認調査の実施 |
| | | ウ 発掘調査の実施、池ヶ谷横穴発掘報告書の刊行 |

| | | |
|--------------------------------|--|--------------------------------------|
| 基本理念 | 「豊かな学びで歩み続ける人づくり」 | |
| 「豊かな学びで歩み続ける人」とは | ～自立した人、思いやりのある人、いつまでも学び続ける人～ | |
| 基本方針 | 3 市民一人ひとりが心豊かで充実した人生を送ることができる社会教育の推進【社会教育】 | |
| 重点施策(大分類) | 施策(中分類) | 個別事業(事務・事業) |
| ⑦ 誰もがスポーツに触れ合う機会の創出 (社会教育課) | (1) 生涯スポーツの推進 | ア スポーツ教室・スポーツイベントの開催 |
| | | イ ニュースポーツの普及 |
| | | ウ スポーツ用備品の適正な管理 |
| | (2) 市主催スポーツ大会の開催 | ア 市民健康駅伝競走大会の開催 |
| | | イ 各種交流会の開催 |
| | | ウ パラスポーツを取り入れたイベントの開催 |
| ⑧ スポーツ団体・スポーツ活動への支援 (社会教育課) | (1) 市スポーツ協会の育成強化 | ア 菊川市スポーツ協会の自立、支援、連携 |
| | | イ 菊川市スポーツ協会への事業委託 |
| | | ウ 菊川市スポーツ協会の加盟団体の活動支援 |
| | (2) 各種スポーツ団体等の育成・強化 | ア 静岡県市町対抗駅伝への参加及び陸上選手権大会の開催 |
| | | イ 全国大会等への出場者(団体)支援 |
| | | ウ 指導者育成スポーツ講座の開催 |
| | (3) 総合型地域スポーツクラブ「アプロス菊川」との協働 | ア スポーツクラブとの連携強化 |
| | | イ 中学生運動部活動の地域移行のための体制構築 |
| | | |
| ⑨ スポーツ活動の場の提供 (社会教育課) | (1) スポーツ施設の整備・管理 | ア 指定管理者による市体育館、スポーツ施設を付帯する都市公園等の管理運営 |
| | | イ 利用者の安全第一を考えた施設の計画的な改修、修繕 |
| | | ウ 公共施設予約システムによる利便性の向上 |
| | | エ 体育館の整備 |
| | | オ 菊川公園グラウンド夜間照明改修工事(LED化) |
| | (2) スポーツ推進に係る調査・審議 | ア 菊川市スポーツ推進審議会の開催 |
| | | イ スポーツ振興基本計画の検証と推進 |
| | | ウ スポーツ振興基本計画庁内連絡会の開催 |

令和5年度 点検評価シート

| | | | | |
|------------------------|--|----------------------|----------|---|
| 施策名 (大分類) | 地域で子どもを守り育てる | | | |
| 施策名 (中分類) | 住民主導による子どもの健やかな成長を育む組織づくり【①-(1)】 | 担当課・係 社会教育課 社会教育係 | | |
| 施策の目的 | 青少年の健全育成や非行等の問題行動防止に向け、支部の青少年健全育成会活動を通じて、家庭、学校、地域住民など、地域社会と行政(関係機関)がそれぞれの役割と責任を担いつつ相互に協力し、「地域の青少年は地域で安全に守り育てる」を柱とした健全育成事業を推進する。 | | | |
| 教育委員会による自己評価 | | | | |
| 令和5年度評価指標 (事業計画・目標) | <ul style="list-style-type: none"> ・青少年非行・被害防止街頭キャンペーン、街頭生活指導を実施する。 ・市子ども会連合会等の青少年活動団体への支援を行う。 | | | |
| 令和5年度実績評価 (施策評価) | <p>地域・家庭・学校が連携して子ども達の健やかな成長を育むとともに、青少年に係わる事件や事故を未然に防ぐことを目的に、JR菊川駅前での啓発活動(青少年の非行・被害防止強調月間街頭キャンペーン、7月4日)と街頭生活指導を実施した。(夏季7月20日、冬季12月14日) 菊川市子ども会連合会による「未来レター事業」と「スポーツリズムトレーニング体験・防災対策体験事業」の実施を支援した。</p> <table border="1"> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">A</td> <td> A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。 </td> </tr> </table> | | A | A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。 |
| A | A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。 | | | |
| 令和4年度実績評価 | 新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策として、安全安心ひとづくり大会は大会規模を縮小し、中央公民館で実施した。また、青少年ボランティア級認定表彰では、1名を表彰した。菊川市子ども会連合会事業では、「お腹元気教室」と「消防体験」を実施した。 | | | |
| 今後の取組課題 又は改善点 | 団体が取組む事業については、関係機関との連携や支援を継続する。また、子ども会連合会が実施する事業への支援も継続する。 | | | |

| | | | | |
|------------------------|--|----------------------|----------|---|
| 施策名 (大分類) | 地域で子どもを守り育てる | | | |
| 施策名 (中分類) | 地域と学校の連携【①-(2)】 | 担当課・係 社会教育課 社会教育係 | | |
| 施策の目的 | 地域と学校が相互に連携し、地域住民等の幅広い参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支援することにより、住民等の学習成果を子育てに活かす場の拡及び地域の教育力の活性化を図る。 | | | |
| 教育委員会による自己評価 | | | | |
| 令和5年度評価指標 (事業計画・目標) | <ul style="list-style-type: none"> ・社会教育委員会定例会を年6回開催する。 ・中学生向けの企業説明会「ふるさと未来塾」を市内3中学校にて開催する。 | | | |
| 令和5年度実績評価 (施策評価) | <p>社会教育委員会では「地域と学校の関わりを考える」をテーマに6回の会議を行い、学舎毎の学習会の開催を企画する他、「はたちの集い」での運営補助が行われた。 「ふるさと未来塾」では、市内の企業や団体の協力を得て、市内3中学校で実施した。また、実施後のアンケートでは、中学生から「大人になっても菊川市へ住み続けたい」と思うへの回答が多かった事、協力された企業・団体からは「仕事を知って貰える良い機会」との意見を頂いた。</p> <table border="1"> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">A</td> <td> A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。 </td> </tr> </table> | | A | A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。 |
| A | A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。 | | | |
| 令和4年度実績評価 | 社会教育委員会ではテーマを「地域と学校の関わり方を考える」とし、会議を年6回開催した。また、はたちの集いの運営補助の他、『冬休みみんなで勉強会』を企画・実施した。中学生ふるさと未来塾事業は、市内の企業・団体の協力を得て、市内3中学校で実施することができた。実施後に行った事業者アンケートでは「今後も地域の事業者として学校教育に関わっていきたい。」等の声が聞かれた。 | | | |
| 今後の取組課題 又は改善点 | 「社会教育委員会」では、昨年企画した学舎毎の勉強会を実施に向けた準備・調整を行うとともに、勉強会などの情報発信と参加の呼びかけを行う。 「ふるさと未来塾」では、事業の継続実施に向けた日程調整と開催内容の協議を行う。 | | | |

令和5年度 点検評価シート

| | | |
|------------------------|---|---|
| 施策名 (大分類) | 地域で子どもを守り育てる | |
| 施策名 (中分類) | 豊かな感性と社会性を育む活動の推進【①－(3)】 | 担当課・係 社会教育課 社会教育係 |
| 施策の目的 | 児童・生徒にボランティア活動や社会参加活動への参加を促し、広く社会で活動することを通し社会性や思いやりの心を育て、健やかな青少年の育成を支援する。 | |
| 教育委員会による自己評価 | | |
| 令和5年度評価指標 (事業計画・目標) | <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア担当者会及びボランティア学習会を実施し、児童生徒へのボランティア活動実践の場を提供する。 ・児童生徒がボランティア活動を行った時間数に応じて取得したポイントにより、ボランティア認定証を交付する。 | |
| 令和5年度実績評価 (施策評価) | A | <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動を受け入れる施設数の増加により、登録者数、活動人数が増加した。 ・ボランティア級認定表彰では、継続して活動した2名を表彰した。(1級1名、2級1名) |
| | | <ul style="list-style-type: none"> A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。 |
| 令和4年度実績評価 | 新型コロナウイルス感染症の影響により、受入施設や参加者は従来より減少したものの、年間を通じて可能な範囲でのボランティア活動が行われ、継続して活動した1名が菊川市ボランティア級認定表彰を受けた。 | |
| 今後の取組課題 又は改善点 | ボランティアを受け入れる企業側と送る学校側のボランティアへの意識が醸成されつつ有る事から、連絡調整に継続してWEBを活用する。 今後も受け入れ先や学校と連携して、ボランティア参加者の安全を確保する。 | |

| | | |
|------------------------|---|--|
| 施策名 (大分類) | 地域で子どもを守り育てる | |
| 施策名 (中分類) | 豊かな感性と社会性を育む体験活動の推進【①－(4)】 | 担当課・係 社会教育課 社会教育係 |
| 施策の目的 | 次世代を担う子どもたちが、豊かな人間性とたくましさを備えるため、文化的・科学的な興味や関心を掘り起こし、体験や規律ある集団生活を通して人格形成を成すよう事業を推進する。 | |
| 教育委員会による自己評価 | | |
| 令和5年度評価指標 (事業計画・目標) | <ul style="list-style-type: none"> ・どきどきフェスティバル、小谷村地域間交流体験教室を開催する。 ・はたちの集いを開催する。 | |
| 令和5年度実績評価 (施策評価) | A | <ul style="list-style-type: none"> ・どきどきフェスティバルでは、土器づくり10名、焼き雛づくりに9名が参加した。また、小谷村地域間体験交流教室では、スキー体験教室に4名が参加した。 ・はたちの集いでは、対象者472名中347名が出席され、各種規制を全廃して開催した。今回より保護者が入場可としたことにより、途中退場者が減少した。式典及び当日の様子を映し公開した動画は、2,300回再生された。 |
| | | <ul style="list-style-type: none"> A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。 |
| 令和4年度実績評価 | どきどきフェスティバルは、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策を講じて実施した。小谷村地域体験交流教室は、同感染症の拡大防止対策のため中止とした。はたちの集いは、規模を縮小して開催した。式典及び当日の様子を映し公開した動画は、2,200回再生となっている。 | |
| 今後の取組課題 又は改善点 | 土器づくり、焼き雛づくりに共に定員数の参加となったが、講師の高齢化による企画の継続が懸念される。 小谷村地域間交流教室参加者の増加を図るため、早期に企画の作成と情報発信を行う。 はたちの集いでは、良い開催方法を残しつつ、継続して開催して行く。 | |

令和5年度 点検評価シート

| | | | | |
|------------------------|---|----------------------|----------|---|
| 施策名 (大分類) | 地域で子どもを守り育てる | | | |
| 施策名 (中分類) | 放課後子どもプランの推進【①-(5)】 | 担当課・係 社会教育課 社会教育係 | | |
| 施策の目的 | 放課後子ども教室は、地域の方々の参画を得て、児童とともに勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等の取組を実施することにより、児童が地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進するものである。また、類似事業である放課後児童クラブとの連携を図り、総合的なあり方の検討を行い、よりよい環境づくりを推進する。 | | | |
| 教育委員会による自己評価 | | | | |
| 令和5年度評価指標 (事業計画・目標) | <ul style="list-style-type: none"> 市内の小学校において、放課後子ども教室を開級する。 放課後子ども総合プラン運営委員会を開催する。 | | | |
| 令和5年度実績評価 (施策評価) | <p>河城、加茂、内田、小笠北において放課後子ども教室を開催し、92名が参加されたが、堀之内、横地では参加希望が無かったため未開催となった。六郷、小笠東、小笠南においては、体制整備が間に合わず募集に至らなかった。放課後子ども総合プラン運営委員会を2月に開催、相互に意見交換が行われた。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">B</td> <td> A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。 </td> </tr> </table> | | B | A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。 |
| B | A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。 | | | |
| 令和4年度実績評価 | 新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策のため、全校一律の開催は中止し、河城小学校及び加茂小学校で規模縮小の上実施した。9月から12月にかけて開級し、河城小学校では27人、加茂小学校では56人の参加があった。放課後子ども総合プラン運営委員会を1月に開催し、委員に対し報告するとともに、情報交換を行った。 | | | |
| 今後の取組課題 又は改善点 | <ul style="list-style-type: none"> 市内9小学校での放課後子ども教室の開催に向け、各小学校のコーディネーターから状況の聞き取りを行い、必要な支援を検討する。 放課後児童クラブと放課後子ども教室の連携について、各小学校の状況把握とコーディネーターからの意見集約が必要と考える。 | | | |

| | | | | |
|------------------------|---|----------------------|----------|---|
| 施策名 (大分類) | 家庭の教育力向上 | | | |
| 施策名 (中分類) | 家庭教育の推進【②-(1)】 | 担当課・係 社会教育課 社会教育係 | | |
| 施策の目的 | 保護者同士が交流し、「子育て」や「しつけ」について悩みや喜びを話し合う場を設け、子どもの健全な身体と人格の発達を助長するために家庭教育の在り方を学ぶ。 | | | |
| 教育委員会による自己評価 | | | | |
| 令和5年度評価指標 (事業計画・目標) | <ul style="list-style-type: none"> 市内の幼稚園、保育園、認定こども園、小中学校において、家庭教育学級を開級する。 家庭教育支援員を、各園及び学校に派遣する。 | | | |
| 令和5年度実績評価 (施策評価) | <p>市内幼保小中において22学級が開級され、各学級で3回以上の活動が行われた。また、家庭教育支援員による各学級への巡回訪問を6回実施した。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">A</td> <td> A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。 </td> </tr> </table> | | A | A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。 |
| A | A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。 | | | |
| 令和4年度実績評価 | 市内幼保小中へ家庭教育学級の開設を呼び掛け、22学級が開級した。新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策のため、昨年度に引き続き学習の回数を年6回以上から3回以上に変更し、在宅でも取り組める事例として、読み聞かせや早寝早起きの取組を紹介した。また、家庭教育支援員による講座を7回実施する他、新たな家庭教育支援員の委嘱に向けた協議、調整を行った。 | | | |
| 今後の取組課題 又は改善点 | 各学級へ配付する資料を作成する際には、家庭教育をより理解して貰える構成を心掛ける。また、支援員の活用については、従来の学級訪問に併せて開催される講座への派遣を各学級に呼び掛ける。 | | | |

令和5年度 点検評価シート

| | | |
|------------------------|--|---|
| 施策名 (大分類) | 生涯学習活動の推進 | |
| 施策名 (中分類) | 生涯学習活動の推進【③-(1)】 | 担当課・係 社会教育課 社会教育係 |
| 施策の目的 | 地域での生涯学習活動を推進するため、各種情報提供を行う。また、生活に潤いを与える趣味の講座や、社会問題について視野を広める講座等、幅広い学習の場を提供し、市民が仲間と共に楽しく学びつつコミュニケーション能力を高め、豊かな感性と人間性を養うことができる、学習の場を提供する。 | |
| 教育委員会による自己評価 | | |
| 令和5年度評価指標 (事業計画・目標) | <ul style="list-style-type: none"> ・ステップアップ講座、いきいきカレッジ菊川を開催する。 ・生涯学習推進員研修会を開催する。 | |
| 令和5年度実績評価 (施策評価) | <ul style="list-style-type: none"> ・ステップアップ講座では、13種類の10回講座に139名、1種類の単発講座に120名、延べ259名が参加した。また、いきいきカレッジ菊川では、2会場で28名が参加した。 ・生涯学習推進員研修は3月に開催し、延べ54名が参加した。 | |
| | A | A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。 |
| 令和4年度実績評価 | 自主講座については、ステップアップ講座終了時に3講座から連絡が有り、1講座(茶道)がサークルの立上げに至った。 ステップアップ講座は前期と後期に分け、1講座5回ずつのシリーズ講座を全18種、単発講座6種を企画し、実施した。また、いきいきカレッジ菊川については、通常通り2会場で実施した。 生涯学習推進員研修会は、年度末に1回研修会を開催し、生涯学習推進員38名が参加した。 | |
| 今後の取組課題 又は改善点 | 受講者より生涯学習だよりへの記載内容への指摘を受けた箇所について、修正対応を行う。 受講者の大半が60～70歳代の女性であるため、幅広い世代の参加率を向上させる企画が必要。 | |

| | | |
|------------------------|---|---|
| 施策名 (大分類) | 鑑賞機会の提供 | |
| 施策名 (中分類) | アエル指定管理者との連携【④-(1)】 | 担当課・係 社会教育課 社会教育係 |
| 施策の目的 | アエル指定管理者との連携により、民間のノウハウを活用し、更なる文化振興を図る。 | |
| 教育委員会による自己評価 | | |
| 令和5年度評価指標 (事業計画・目標) | <ul style="list-style-type: none"> ・アエル指定管理者へ芸術文化振興事業を委託し、事業を実施する。 ・菊川文化会館アエル運営委員会を年3回開催する。 | |
| 令和5年度実績評価 (施策評価) | <ul style="list-style-type: none"> ・市内の芸術文化の振興を図るため、菊川文化会館アエルに業務委託を発注し、9事業を実施した。 ・菊川文化会館アエルの管理運営の連携を図るため月例報告を受ける他、年3回の運営委員会を開催し、委員への状況報告と意見徴集を実施した。 | |
| | A | A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。 |
| 令和4年度実績評価 | 菊川文化会館アエルにおける芸術文化の振興を図る業務委託を指定管理者に発注し、9事業が実施された。 指定管理者との連携を図るため、管理運営状況の月例報告を受ける他、年3回の運営委員会により意見交換を実施した。 | |
| 今後の取組課題 又は改善点 | 市民に鑑賞機会を提供し芸術文化振興を図るためにも、委託事業を継続する。また、指定管理者との情報交換と情報発信を継続的に行う。 | |

令和5年度 点検評価シート

| | | |
|------------------------|---|---|
| 施策名 (大分類) | 鑑賞機会の提供 | |
| 施策名 (中分類) | アエルの計画的な施設の改修【④-(2)】 | 担当課・係 社会教育課 社会教育係 |
| 施策の目的 | アエルは平成4年3月に開館し、随所に経年劣化が著しく、管理運営に支障をきたす恐れがあるため、修繕を実施する。 | |
| 教育委員会による自己評価 | | |
| 令和5年度評価指標 (事業計画・目標) | ・設備改修計画に基づく工事及び工事関連業務委託を実施する。 | |
| 令和5年度実績評価 (施策評価) | 大・小ホールの舞台照明負荷設備の更新工事、第一変電所の受電盤改修工事、空調吸収冷温水機分解整備工事を発注したが、部品製造に不測の時間を要した事から、第一変電所の受電盤改修工事、空調吸収冷温水機分解整備工事は翌年度へ繰越す事となった。 指定管理者からの管理点検結果をもとに施設の老朽化に対応するため、スプリンクラー設備の呼水槽の交換工事と大ホールA・B階段の照明器具修繕工事を実施した。 | |
| | B | A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。 |
| 令和4年度実績評価 | 大・小ホールの音響設備改修工事、リハーサル室大・小の空調設備更新工事、施設内の手洗場の自動水栓化工事を計画通り実施した。 開館から30年を経過し、施設の老朽化に対応するための協議を指定管理者と行い、楽屋4～9の空調設備更新工事を実施した。 | |
| 今後の取組課題 又は改善点 | 経年劣化による施設設備の更新と修繕が必要な状況に有る。今後も指定管理者や施設点検業者から設備の状況について聞き取りを行い、早期の設備更新に取り組む。 | |

| | | |
|------------------------|---|---|
| 施策名 (大分類) | 市民の文化・芸術活動への支援 | |
| 施策名 (中分類) | 文化芸術活動の振興【⑤-(1)】 | 担当課・係 社会教育課 社会教育係 |
| 施策の目的 | 市民の生涯学習推進のために実際生活に即する教育、学術及び文化に関する事業を行い、もって市民の教養の向上、健康の増進及び情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする。 | |
| 教育委員会による自己評価 | | |
| 令和5年度評価指標 (事業計画・目標) | ・文化協会に文化祭、絵画コンクール、書き初め展の3事業を委託し、事業を実施する。 ・文芸誌「文苑きくがわ」の編集を行い、冊子を発刊する。 | |
| 令和5年度実績評価 (施策評価) | ・市から委託した3事業は適正に実施された。文化祭は、展示11団体、芸能21団体が参加し、10月28～29日の2日間開催され、延べ1,488名が来場した。絵画コンクールでは、136点の応募が有り、入賞30点のうち6点を表彰した。書き初め展では、359点の応募が有り、入賞33点のうち13点を表彰した。 ・文芸誌の発刊では、82展の作品提出が有り、文芸誌編集委員による7回の編集作業を経て第16号を発刊した。 | |
| | A | A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。 |
| 令和4年度実績評価 | 委託3事業は全て実施した。文化祭では展示部門11団体、芸能部門18団体が参加し、2日間で1,563名が来場した。絵画コンクールでは73点の応募が有り、入賞16点を選定した。書き初め展では380点の応募があり、入賞35点を選定した。 文芸誌検討委員会を全5回開催し、翌年度から再発刊することが決定した。 | |
| 今後の取組課題 又は改善点 | 市民の生涯学習への機運を高めるためにも文化協会へ委託する3事業を継続して行く。また、文化協会が持続する組織となる事が必要であり、そのための取組みや支援方法については役員との協議を継続的に行う。 | |

令和5年度 点検評価シート

| | | |
|--------------|---|----------------------|
| 施策名 (大分類) | 市民の文化・芸術活動への支援 | |
| 施策名 (中分類) | 中央公民館の管理・運営【⑤-②】 | 担当課・係 社会教育課 社会教育係 |
| 施策の目的 | 市民の生涯学習推進のために実際生活に即する教育、学術及び文化に関する事業を行い、もって市民の教養の向上、健康の増進及び情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする。 | |

教育委員会による自己評価

| | | |
|------------------------|---|---|
| 令和5年度評価指標 (事業計画・目標) | <ul style="list-style-type: none"> 中央公民館の維持管理を適切に行う。 中央公民館の多目的ホール、会議室、和室等の貸出を行う。 | |
| 令和5年度実績評価 (施策評価) | <ul style="list-style-type: none"> 保守点検や清掃業務委託、非常照明取替工事、駐車場街灯建替工事、多目的ホール移動観覧席部品更新工事などを実施し、良好な状態を保つとともに、緊急を要する修繕に対応した。 生涯学習や文化活動を目的とする施設利用は、前年度と比較して増加傾向にあり、運営審議会において随時報告を行った。 | |
| | A | A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。 |
| 令和4年度実績評価 | 保守点検や清掃業務委託、非常照明取替工事、駐車場街灯建替工事などを実施し、良好な状態を保つとともに、緊急を要する修繕に対応した。年度途中から収容定員の制限を撤廃して貸館を継続し、生涯学習や文化活動を目的とした利用はコロナ禍以前と比べると少ないものの、前年度比では回復傾向にある。施設の状況については、運営審議会において随時報告を行った。 | |
| 今後の取組課題 又は改善点 | 本施設も経年劣化が進んでいる事から、定期的な設備点検や修繕と共に長期的な設備更新について計画作成が必要となっている。 また、コロナ禍以前の利用者や団体については、活動再開に向けた呼びかけだけでなく、状況を把握する事も必要である。 | |

| | | |
|--------------|---|----------------------|
| 施策名 (大分類) | 市民の文化・芸術活動への支援 | |
| 施策名 (中分類) | 文化振興計画の推進及び検証【⑤-③】 | 担当課・係 社会教育課 文化振興係 |
| 施策の目的 | 菊川市文化振興計画の「5か年事業実施計画」の取組状況を検証するとともに、市民一人ひとりが自ら学び、地域とともに文化の継承・発展を図ります。 | |

教育委員会による自己評価

| | | |
|------------------------|--|---|
| 令和5年度評価指標 (事業計画・目標) | <ul style="list-style-type: none"> 文化振興計画の進捗管理を行う。 歴史検定委員会を年4回開催する。 | |
| 令和5年度実績評価 (施策評価) | <ul style="list-style-type: none"> 庁内関係課で組織する文化振興計画推進委員会を2回開催し、文化振興計画の進捗管理を行った。 歴史検定委員会を4回開催し、検定開催に向けた協議や教本の原案の作成を行った。 | |
| | A | A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。 |
| 令和4年度実績評価 | 第1次文化振興計画について、評価委員会を開催し、総評をまとめることができた。歴史検定事業においては、2回の委員会を開催し、歴史検定の対象となる事項等方針をまとめることができた。地域資源を活かした文化資源交流事業に関しては、「家康伝説と秋葉街道」をテーマに文化財ウォーキングを行い、市内外から44名の参加があった。 | |
| 今後の取組課題 又は改善点 | 令和6年度において歴史検定を行うため、周知方法や教本の活かし方を検討する必要がある。今後も引き続き、文化振興計画の進捗管理を進める。 | |

令和5年度 点検評価シート

| | | |
|------------------------|---|---|
| 施策名 (大分類) | 文化財の保存・周知・活用 | |
| 施策名 (中分類) | 文化財の保護 【⑥-(1)】 | 担当課・係 社会教育課 文化振興係 |
| 施策の目的 | 市内にある指定文化財の維持管理を行うことにより、郷土の貴重な文化財を保護活用していく。 | |
| 教育委員会による自己評価 | | |
| 令和5年度評価指標 (事業計画・目標) | <ul style="list-style-type: none"> ・文化財保護審議会を年2回開催する。 ・国指定文化財等の維持管理及び整備を行う。 | |
| 令和5年度実績評価 (施策評価) | 文化財保護審議会を2回開催して、文化財保護審議会の答申により福田半香が描いた驟雨之図を有形文化財に指定した。 | |
| | A | A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。 |
| 令和4年度実績評価 | 文化財保護審議会を2回開催し、潮海寺仁王像を新たな市指定有形文化財に指定した。また、史跡等の指定文化財の管理を適切に行った。 | |
| 今後の取組課題 又は改善点 | 今後も市内の文化財の調査を行い、文化財の指定に向けて協議を行っていく。 | |

| | | |
|------------------------|--|---|
| 施策名 (大分類) | 文化財の保存・周知・活用 | |
| 施策名 (中分類) | 文化・顕彰活動支援【⑥-(2)】 | 担当課・係 社会教育課 文化振興係 |
| 施策の目的 | 菊川市に残る地域の文化財を保護するために、文化財の保護や継承を行っている団体に対して指導・支援を行う。 | |
| 教育委員会による自己評価 | | |
| 令和5年度評価指標 (事業計画・目標) | <ul style="list-style-type: none"> ・指定無形民俗文化財の保存、継承活動を行っている団体及び地域文化財活動団体への支援を行う。 ・関口隆吉氏顕彰事業を実施する。 | |
| 令和5年度実績評価 (施策評価) | 指定民俗文化財の虚空蔵山節分祭は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策により中止となったため、補助金の支払いは出来なかった。関口隆吉の顕彰事業として、市内の小学6年生全員にパンフレットを配布した。また、文化財ウォークでは小笠東地区を中心に善勝寺巡り、41名が参加した。 | |
| | B | A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。 |
| 令和4年度実績評価 | 指定民俗文化財の虚空蔵山節分祭は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策により中止となったため、補助金の支払いは出来なかった。関口隆吉の顕彰事業として、市内の小学6年生全員にパンフレットを配布した。また、文化財ウォークでは「家康伝説と秋葉街道」をテーマに小笠北地区を中心に巡り、44名が参加した。 | |
| 今後の取組課題 又は改善点 | 今後も文化財ウォークを開催し、市内の文化財を紹介していく必要がある。 | |

令和5年度 点検評価シート

| | | |
|------------------------|---|---|
| 施策名 (大分類) | 文化財の保存・周知・活用 | |
| 施策名 (中分類) | 文化財の活用【⑥-(3)】 | 担当課・係 社会教育課 文化振興係 |
| 施策の目的 | 発掘調査等により出土した資料の展示や資料館等の収蔵品の展示を行うことにより、文化財の活用を図る。 | |
| 教育委員会による自己評価 | | |
| 令和5年度評価指標 (事業計画・目標) | <ul style="list-style-type: none"> ・街道画及び埋蔵文化財等の展示、活用を行う。 ・黒田家代官屋敷資料館及び菊川市埋蔵文化財センター「どきどき」を適切に管理・運営する。 | |
| 令和5年度実績評価 (施策評価) | 埋蔵文化財の展示・活用については、中央公民館展示室で特別展示を開催し、活用が図られた。街道画の展示・活用については、中央公民館、菊川文庫で2回展示を行い、徳川家康をテーマに行った。昨年度に引き続き「どきどきクイズスタンプラリー」を企画し、史跡や城郭などに触れ合う機会を創出することができた。 | |
| | A | A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。 |
| 令和4年度実績評価 | 埋蔵文化財の展示・活用については、中央公民館展示室で特別展示を開催し、活用が図られた。街道画の展示・活用については、中央公民館、菊川文庫で2回展示を行い、街道画の普及に努めることができた。また、2月より近藤朔風の画集を展示した。昨年度に引き続き「どきどきクイズスタンプラリー」を企画し、史跡や城郭などに触れ合う機会を創出することができた。 | |
| 今後の取組課題 又は改善点 | 街道画は静岡遺産の「秋葉信仰と街道」と関わりが深いので、今後も進める必要がある。 | |

| | | |
|------------------------|---|---|
| 施策名 (大分類) | 文化財の保存・周知・活用 | |
| 施策名 (中分類) | 史跡の管理・活用【⑥-(4)】 | 担当課・係 社会教育課 文化振興係 |
| 施策の目的 | 市内の周知の遺跡を適切に管理保護することにより、開発などから埋蔵文化財を保護し、次世代に歴史遺産を継承する。 | |
| 教育委員会による自己評価 | | |
| 令和5年度評価指標 (事業計画・目標) | <ul style="list-style-type: none"> ・史跡菊川城館遺跡群整備委員会を年3回開催する。 ・史跡菊川城館遺跡群整備実施設計業務委託の作成及び樹木維持管理計画の策定を行う。 | |
| 令和5年度実績評価 (施策評価) | 菊川城館遺跡群(高田大屋敷遺跡・横地氏城館跡)の整備基本設計の委託業務を行うとともに、整備委員会を開催し、高田大屋敷と横地城館跡の整備方針について議論した。令和6年3月に史跡菊川城館遺跡群整備実施設計を作成した。また、業務委託により樹木維持管理計画を策定した。 | |
| | A | A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。 |
| 令和4年度実績評価 | 菊川城館遺跡群(高田大屋敷遺跡・横地氏城館跡)の整備基本設計の委託業務を行うとともに、整備委員会を開催し、高田大屋敷と横地城館跡の整備方針について議論した。令和5年3月に史跡菊川城館遺跡群整備基本設計を作成した。また、樹木維持管理計画を策定するための業務委託を行い、令和4、5年度で策定を行う。 | |
| 今後の取組課題 又は改善点 | 今後も、菊川城館遺跡群の整備を進めていく必要がある。 | |

令和5年度 点検評価シート

| | | |
|------------------------|---|---|
| 施策名 (大分類) | 文化財の保存・周知・活用 | |
| 施策名 (中分類) | 開発に伴う埋蔵文化財の保護・管理【⑥-(5)】 | 担当課・係 社会教育課 文化振興係 |
| 施策の目的 | 市内の周知の遺跡を適切に管理保護することにより、開発などから埋蔵文化財を保護し、次世代に歴史遺産を継承する。 | |
| 教育委員会による自己評価 | | |
| 令和5年度評価指標 (事業計画・目標) | <ul style="list-style-type: none"> ・各種開発による試掘、確認調査を実施する。 ・発掘調査を実施し、池之谷横穴発掘報告書を刊行する。 | |
| 令和5年度実績評価 (施策評価) | 池之谷横穴群発掘調査報告書を刊行することができた。15件の確認調査を実施した。 | |
| | A | A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。 |
| 令和4年度実績評価 | 試掘・確認調査の結果に基づき、市内遺跡の埋蔵文化財包蔵地の範囲の変更を行った。道路整備に伴う本発掘調査を実施し、記録保存による文化財保護に努めた。 | |
| 今後の取組課題 又は改善点 | 今後も周知の遺跡における開発行為に対し、開発者と協議を行い遺跡の保護に努めていく。 | |

令和5年度 点検評価シート

| | | |
|------------------------|---|--|
| 施策名 (大分類) | 誰もがスポーツに触れあう機会の創出 | |
| 施策名 (中分類) | 生涯スポーツの推進 【⑦-(1)】 | 担当課・係 社会教育課 スポーツ振興係 |
| 施策の目的 | いつでも、どこでも、だれでも取り組める運動やライフステージに応じたスポーツを推奨し、運動する人を増やし、市民の運動習慣の実施率を高めます。また、レクリエーションスポーツの普及活動を支援し、スポーツを通じた地域づくりを進めます。 | |
| 教育委員会による自己評価 | | |
| 令和5年度評価指標 (事業計画・目標) | <ul style="list-style-type: none"> ・シニア健康体操教室などのスポーツ教室を開催する。 ・スポーツ委員研修会を実施する。 | |
| 令和5年度実績評価 (施策評価) | <p>スポーツ教室及びシニア健康体操教室を実施し、市民への健康づくり、交流促進の場を提供することができた。 また、スポーツ委員研修会を開催し、地域でのスポーツ活動への協力を依頼した。</p> | |
| | A | <p>A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。</p> |
| 令和4年度実績評価 | 新型コロナウイルス感染症の拡大防止策を講じ、スポーツ教室及びシニア健康体操教室を実施し、市民への健康づくり、交流促進の場を提供することができた。 | |
| 今後の取組課題 又は改善点 | 第2次スポーツ振興基本計画に基づき、各種事業の進捗確認をするとともに、生涯スポーツを推進できるよう内容の見直しや充実を図る。 | |

| | | |
|------------------------|---|--|
| 施策名 (大分類) | 誰もがスポーツに触れあう機会の創出 | |
| 施策名 (中分類) | 市主催スポーツ大会の開催 【⑦-(2)】 | 担当課・係 社会教育課 スポーツ振興係 |
| 施策の目的 | 子どもから高齢者まで幅広い年齢層を対象に、市民が気軽に参加できる軽スポーツを中心に市主催大会を開催し、スポーツを通して多世代間の交流を促進すると共に、健康で心豊かな人づくりに寄与します。 | |
| 教育委員会による自己評価 | | |
| 令和5年度評価指標 (事業計画・目標) | <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツレクリエーションフェスティバルを開催する。 ・ペタボード交流会、ビーチボール交流会を開催する。 | |
| 令和5年度実績評価 (施策評価) | <p>スポーツレクリエーションフェスティバルやペタボードやビーチボール交流会を実施し、市民の運動能力に応じた事業を実施することができた。</p> | |
| | A | <p>A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。</p> |
| 令和4年度実績評価 | 新型コロナウイルス感染症の拡大防止策を講じ、スポーツレクリエーションフェスティバルやNEWスポーツの普及事業として、ペタボードやビーチボール交流会を実施し、市民の運動能力に応じた事業を実施することができた。 | |
| 今後の取組課題 又は改善点 | 第2次スポーツ振興基本計画に基づき、市民の運動習慣に繋がるよう、各種事業の内容の見直しや充実を図る。 | |

令和5年度 点検評価シート

| | | |
|------------------------|---|---|
| 施策名 (大分類) | スポーツ団体・スポーツ活動への支援 | |
| 施策名 (中分類) | 市スポーツ協会の育成強化 【⑧-(1)】 | 担当課・係 社会教育課 スポーツ振興係 |
| 施策の目的 | NPO法人菊川市スポーツ協会やスポーツ推進委員などと連携し、スポーツ事業を開催します。 | |
| 教育委員会による自己評価 | | |
| 令和5年度評価指標 (事業計画・目標) | <ul style="list-style-type: none"> ・市スポーツ協会の自主事業等の企画及び実施等について、支援連携を行う。 ・スポーツ少年団交流会を開催する。 | |
| 令和5年度実績評価 (施策評価) | A | <p>菊川Cityマラソン開催のための支援及びスポーツ少年団交流会を開催することができた。また、市体育協会への自立支援として、指定管理業務の月次報告会及び四半期報告会において指導及び助言を行った。</p> <p>A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。</p> |
| 令和4年度実績評価 | <p>新型コロナウイルス感染症の拡大防止策を講じ、前年度と同様に市町対抗駅伝への参加及びスポーツ少年団交流会を開催することができた。(市町対抗駅伝は、過去最高記録)また、市体育協会への自立支援として、指定管理業務の月次報告会及び四半期報告会において指導及び助言を行った。</p> | |
| 今後の取組課題 又は改善点 | <p>各種事業の内容の把握、情報の共有を図りつつ、自立への継続的支援を実施していく。</p> | |

令和5年度 点検評価シート

| | | |
|------------------------|--|---|
| 施策名 (大分類) | スポーツ団体・スポーツ活動への支援 | |
| 施策名 (中分類) | 各種スポーツ団体等の育成・強化 【⑧-(2)】 | 担当課・係 社会教育課 スポーツ振興係 |
| 施策の目的 | スポーツ協会に所属するスポーツ団体やスポーツ少年団などに加え、任意のスポーツ団体など多数のスポーツグループに対する活動支援を行います。 | |
| 教育委員会による自己評価 | | |
| 令和5年度評価指標 (事業計画・目標) | <ul style="list-style-type: none"> ・静岡県市町対抗駅伝競走大会への参加及び陸上選手権大会を開催する。 ・スポーツ少年団及び菊川市スポーツ協会加盟団体等の活動を支援する。 | |
| 令和5年度実績評価 (施策評価) | <ul style="list-style-type: none"> ・静岡県市町対抗駅伝競走大会では、市の部11位でゴールし、過去最高順位の結果を残すことができた。また、陸上選手権大会をエコパスタジアムで開催し、延べ495人が参加した。 ・スポーツ少年団交流会に73人が参加し、団員の親睦を深めることができた。 | |
| | A | A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。 |
| 令和4年度実績評価 | 新型コロナウイルス感染症対策のため、体育協会主催事業は中止したが、スポーツ少年団事業の結団式や交流会を実施することができた。 また、全国大会等出場選手の支援として、補助金・奨励金の支給を行った。 | |
| 今後の取組課題 又は改善点 | スポーツ少年団の支援を行い、青少年の健全育成につなげていく。また、奨励金制度を周知するとともに、市のスポーツ競技力の向上に努めていく。 | |

| | | |
|------------------------|--|---|
| 施策名 (大分類) | スポーツ団体・スポーツ活動への支援 | |
| 施策名 (中分類) | 総合型地域スポーツクラブ「アプロス菊川」との協働 【⑧-(3)】 | 担当課・係 社会教育課 スポーツ振興係 |
| 施策の目的 | 平成23年2月27日に「アプロス菊川」が設立され、多くの年代がスポーツを生活の一部として習慣化するために中心的役割を担う総合型地域スポーツクラブとして、体制の確立を図る。 | |
| 教育委員会による自己評価 | | |
| 令和5年度評価指標 (事業計画・目標) | <ul style="list-style-type: none"> ・総合型地域スポーツクラブ「アプロス菊川」が主催する各種教室等の活動への支援を行う。 | |
| 令和5年度実績評価 (施策評価) | アプロス菊川への支援として、施設使用料を減免するとともに、市のシニア健康教室を共催により開催した。 | |
| | A | A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。 |
| 令和4年度実績評価 | アプロス菊川への支援として、施設使用料を減免するとともに、市のシニア健康教室を共催により開催した。 | |
| 今後の取組課題 又は改善点 | アプロス菊川の認知度向上など、企画運営に対する協力を実施していく必要がある。 | |

令和5年度 点検評価シート

| | | |
|------------------------|---|---|
| 施策名 (大分類) | スポーツ活動の場の提供 | |
| 施策名 (中分類) | スポーツ施設の整備・管理 【⑨-(1)】 | 担当課・係 社会教育課 スポーツ振興係 |
| 施策の目的 | スポーツ施設の安全・安心な利用のため、拠点となるスポーツ施設の管理と計画的な改修・整備を進めます。 | |
| 教育委員会による自己評価 | | |
| 令和5年度評価指標 (事業計画・目標) | <ul style="list-style-type: none"> 指定管理者によるスポーツ施設の維持管理及び貸出を実施する。 菊川公園グラウンドの夜間照明設備をLEDに変更するなど、施設の計画的な整備を行う。 | |
| 令和5年度実績評価 (施策評価) | <ul style="list-style-type: none"> 市民へのスポーツの機会提供のため、市内体育施設の貸し出し業務を行った。 菊川公園の夜間照明のLED化工事を実施したところ、次年度に繰越しとなり6月完成予定となった。 | |
| | B | A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。 |
| 令和4年度実績評価 | 市民へのスポーツの機会提供のため、市内体育施設の貸し出し業務を行った。また、小笠北小学校及び内田小学校グラウンドの夜間照明灯のLED化工事を実施し、施設改修に努めた。 | |
| 今後の取組課題 又は改善点 | 現在のインターネットによる施設予約申請も定着している。引き続き利用者へ施設利用上のルール周知を図っていく。 | |

| | | |
|------------------------|--|---|
| 施策名 (大分類) | スポーツ活動の場の提供 | |
| 施策名 (中分類) | スポーツ推進に係る調査・審議 【⑨-(2)】 | 担当課・係 社会教育課 スポーツ振興係 |
| 施策の目的 | 菊川市のスポーツ振興施策について、スポーツに関する学識経験者を中心として組織されたスポーツ推進審議会において審議し、更なる市のスポーツ振興を図ります。 | |
| 教育委員会による自己評価 | | |
| 令和5年度評価指標 (事業計画・目標) | <ul style="list-style-type: none"> スポーツ推進審議会を年3回開催する。 スポーツ振興基本計画庁内連絡会を年3回開催する。 | |
| 令和5年度実績評価 (施策評価) | 第2次スポーツ振興計画の進捗管理を行うため、庁内連絡会及びスポーツ推進審議会を年3回開催した。 | |
| | A | A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。 |
| 令和4年度実績評価 | スポーツ振興基本計画策定委員会を年5回実施し、スポーツ推進審議会へ諮問、答申をいただき、第2次スポーツ振興基本計画を策定した。 | |
| 今後の取組課題 又は改善点 | 引続き庁内連絡会議を実施し、第2次スポーツ推進計画の進捗管理を実施していく。 | |

| | | | |
|------------------------|--|-----------------------------|------------------|
| 基本理念 | 「豊かな学びで歩み続ける人づくり」 | | |
| 「豊かな学びで歩み続ける人」とは | ～自立した人、思いやりのある人、いつまでも学び続ける人～ | | |
| 基本方針 | 3 市民一人ひとりが心豊かで充実した人生を送ることができる社会教育の推進【社会教育】 | | |
| 重点施策(大分類) | 施策(中分類) | 個別事業(事務・事業) | |
| ⑩ 子どもの読書活動の推進 (図書館) | (1) 読書習慣の定着 | ア 子ども読書活動推進計画の着実な実施と推進会議の開催 | |
| | | イ ブックスタート事業 | |
| | (2) 学校図書館と公立図書館の連携 | ア 学校司書巡回事業 | |
| | | イ 団体貸出の推進 | |
| | | ウ 子ども司書の養成と活動促進 | |
| | (3) 移動図書館の充実 | ア 移動図書館巡回事業 | |
| | | イ 利用者カードの促進 | |
| | (4) 青少年サービスの充実 | ア ボランティア・インターンシップの支援 | |
| | | イ YAコーナーの充実 | |
| | (5) 子ども向けイベントの充実 | ア こども図書館事業 | |
| | | イ 親子読書の集い(おはなしステーション)事業 | |
| | | ウ おはなし会等 | |
| | ⑪ 読書機会の提供と読書活動の啓発 (図書館) | (1) 多様な図書館サービスの提供 | ア バリアフリーサービス |
| | | | イ 多文化サービス |
| | | | ウ 予約・リクエストサービス |
| エ 協力貸出・相互貸借の推進 | | | |
| オ 電子図書館導入の準備 | | | |
| (2) 課題解決や多様な学習活動等の支援 | | ア レファレンスサービス機能の充実 | |
| | | イ 特設コーナー等の充実 | |
| | | ウ パスファインダーの充実 | |
| (3) 情報通信技術(ICT)の活用 | | ア SNSを通じた情報発信 | |
| | | イ ホームページの充実 | |
| | | ウ インターネットサービスの提供 | |
| ⑫ 読書環境の整備 (図書館) | | (1) 計画的な資料収集と蔵書管理 | ア 図書館資料の充実 |
| | | | イ 地域資料等の収集とデジタル化 |
| | | | ウ 不用図書等の有効活用 |
| | | (2) 専門性を備えた職員の育成 | ア 専門的な研修等への参加促進 |
| | イ 職員のスキルアップ強化 | | |
| | (3) 市民協働による図書館運営の推進 | ア 図書館ボランティア等への支援 | |
| | | イ 図書館ボランティア人材の育成 | |
| | (4) 効果的な図書館運営の検討 | ア 図書館協議会の開催(図書館運営の推進及び検証) | |
| | | イ 自主財源確保に向けた取り組みの充実 | |

令和5年度 点検評価シート

| | | |
|------------------------|--|---|
| 施策名 (大分類) | 子どもの読書活動の推進 | |
| 施策名 (中分類) | 読書習慣の定着【⑩-(1)】 | 担当課・係 図書館 図書1・2係 |
| 施策の目的 | 第四次菊川市子ども読書活動推進計画に基づき、子ども自身が主体的に読書に取り組めるような環境整備を進めるとともに、乳幼児期からの読書習慣の定着を図る。 | |
| 教育委員会による自己評価 | | |
| 令和5年度評価指標 (事業計画・目標) | <ul style="list-style-type: none"> 子ども読書活動推進協議会、子ども読書活動庁内推進委員会及び学校図書館担当者連絡会を開催する。 6か月児相談時にブックスタートパックの配布を行い、絵本を通じた家族のふれあいを推奨する。 | |
| 令和5年度実績評価 (施策評価) | <ul style="list-style-type: none"> 子ども読書活動推進協議会及び学校図書館担当者連絡会を開催した。 6か月児相談時にブックスタートパックの配布を行い、絵本を通じた家族のふれあいを推奨した。 | |
| | A | A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。 |
| 令和4年度実績評価 | 子ども読書活動推進協議会、子ども読書活動庁内推進委員会及び学校図書館担当者連絡会を開催し、協議を行い、第四次菊川市子ども読書活動推進計画を策定した。7か月児相談の場で、親子にブックスタートパックの配布を行った。 | |
| 今後の取組課題 又は改善点 | 第四次菊川市子ども読書活動推進計画を推進するため、各施設や各団体との連携・協力を密に行う。 | |

| | | |
|------------------------|--|---|
| 施策名 (大分類) | 子どもの読書活動の推進 | |
| 施策名 (中分類) | 学校図書館と公立図書館の連携【⑩-(2)】 | 担当課・係 図書館 図書1・2係 |
| 施策の目的 | 子どもの読書活動の継続のために、学校図書館が機能できるよう公立図書館が連携して事業を実施する。 | |
| 教育委員会による自己評価 | | |
| 令和5年度評価指標 (事業計画・目標) | <ul style="list-style-type: none"> 図書館司書が市内小中学校を月2回程度巡回訪問し、学校図書室の整備や読書を通じた学習支援等を行う。 菊川市子ども司書養成講座を年10回開催し、菊川市子ども司書を認定する。 | |
| 令和5年度実績評価 (施策評価) | <ul style="list-style-type: none"> 図書館司書が市内小中学校を月2回巡回訪問し、学校図書室の整備や読書を通じた学習支援等を行った。 菊川市子ども司書養成講座を年10回開催し、菊川市子ども司書6人を認定した。 | |
| | A | A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。 |
| 令和4年度実績評価 | 図書館司書が市内小中学校を月2回巡回訪問し、学校図書室の整備や読書を通じた学習支援等を行った。菊川市子ども司書養成講座を開講し、子ども司書7人を認定した。 | |
| 今後の取組課題 又は改善点 | <ul style="list-style-type: none"> 学校図書館の利活用や学習支援のため、学校と密に打合せを重ねていく必要がある。 認定した子ども司書の活用の場を広げ、読書推進につなげる。 | |

令和5年度 点検評価シート

| | | |
|------------------------|---|---|
| 施策名 (大分類) | 子どもの読書活動の推進 | |
| 施策名 (中分類) | 移動図書館の充実【⑩-(3)】 | 担当課・係 図書館 図書1・2係 |
| 施策の目的 | なかよし2号で市内の小学校を定期的に巡回し、子どもたちが読書に親しむ機会を提供する。 | |
| 教育委員会による自己評価 | | |
| 令和5年度評価指標 (事業計画・目標) | ・なかよし2号による市内小学校への巡回貸出を、1校あたり年10回訪問する。 | |
| 令和5年度実績評価 (施策評価) | なかよし号による市内小学校への巡回貸出を、1校あたり年10回訪問した。貸出冊数は年間3,246冊だった。 | |
| | A | A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。 |
| 令和4年度実績評価 | なかよし号による市内小学校への巡回貸出を実施した。貸出冊数は年間3,554冊で目標の78.9%であった。学校との日程調整の都合で中止した日があり、目標値に届かなかった。幼児施設への巡回は、昨年度より1園多い3園で実施した。 | |
| 今後の取組課題 又は改善点 | 巡回先の学校全体で利用が伸び悩んでいる。学校司書を通じ、なかよし号の利用講座が開催できることを学校に呼びかける。また、公式SNSを活用した巡回日の周知を行う。 | |

| | | |
|------------------------|--|---|
| 施策名 (大分類) | 子どもの読書活動の推進 | |
| 施策名 (中分類) | 青少年サービスの充実【⑩-(4)】 | 担当課・係 図書館 図書1・2係 |
| 施策の目的 | 青少年ボランティアやインターンシップを受け入れるとともに、中高生向けの資料の充実を図り、青少年の読書の習慣化をめざす。 | |
| 教育委員会による自己評価 | | |
| 令和5年度評価指標 (事業計画・目標) | ・大学生のインターンシップ、特別支援学校や高校生のインターンシップを受け入れる。 | |
| 令和5年度実績評価 (施策評価) | 大学生インターンシップ4名、大学生図書館実習1名、高校生インターンシップ3名、小中高生ボランティア7名を受け入れた。菊川文庫に中高生向け図書コーナーを設置する等、資料の充実を図り、青少年の読書の習慣化を目指した。 | |
| | A | A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。 |
| 令和4年度実績評価 | 大学生インターンシップ3名を受け入れた。新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、小中高生ボランティアの受け入れは中止した。 | |
| 今後の取組課題 又は改善点 | インターン等参加者による推薦する図書の紹介や、同世代を対象にした読書推進方法のアンケートを取り、施策に生かす。 | |

令和5年度 点検評価シート

| | | |
|------------------------|--|---|
| 施策名 (大分類) | 子どもの読書活動の推進 | |
| 施策名 (中分類) | 子ども向けイベントの充実【⑩-(5)】 | 担当課・係 図書館 図書1・2係 |
| 施策の目的 | 子どもたちに図書館や本の世界に親しむきっかけを提供するため、おはなし会などの催事を実施する。 | |
| 教育委員会による自己評価 | | |
| 令和5年度評価指標 (事業計画・目標) | <ul style="list-style-type: none"> ・こども図書館及び親子読書の集い(おはなしステーション)を開催する。 ・すいようおはなし会、012歳児おはなし会、日曜おはなし会を開催する。 | |
| 令和5年度実績評価 (施策評価) | <ul style="list-style-type: none"> ・8月1日(火)~13日(日)に小笠図書館でこども図書館フェスタを開催した。 ・7月1日に親子読書の集い(おはなしステーション)を開催した。 ・すいようおはなし会、012歳児おはなし会、日曜おはなし会を開催した。 | |
| | A | A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。 |
| 令和4年度実績評価 | 7月18日(海の日)に、菊川文庫を会場としてこども図書館を開催した。新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策を講じながら、012歳児おはなし会、すいようおはなし会、日曜おはなし会を開催した。 | |
| 今後の取組課題 又は改善点 | 小笠図書館における平日のおはなし会の参加者が少ないため、新たに第2日曜日におはなし会を開催し、子どもたちに本の世界を楽しむきっかけを増やす。 | |

| | | |
|------------------------|--|---|
| 施策名 (大分類) | 読書機会の提供と読書活動のすすめ | |
| 施策名 (中分類) | 多様な図書館サービスの提供【⑪-(1)】 | 担当課・係 図書館 図書1・2係 |
| 施策の目的 | すべての人が快適に利用できるよう、図書館の資料やサービスを活用して市民のニーズに応える。 | |
| 教育委員会による自己評価 | | |
| 令和5年度評価指標 (事業計画・目標) | <ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度の図書館システムの更新に合わせて電子図書館の導入準備を進める。 ・多文化サービス及び予約・リクエストサービス等の多様な図書館サービスを提供する。 | |
| 令和5年度実績評価 (施策評価) | <ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度の図書館システムの更新に合わせて電子図書館の導入準備を進めた。 ・予約受付数18,860件、リクエスト受付数956件であった。 ・年間の相互貸借冊数:1,535冊(内訳 貸出冊数737冊、借受冊数798冊)であった。 | |
| | A | A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。 |
| 令和4年度実績評価 | <ul style="list-style-type: none"> ・予約受付数18,433件、リクエスト受付数819件であった。 ・年間の相互貸借冊数:1,396冊(内訳 貸出冊数713冊、借受冊数683冊)であった。 | |
| 今後の取組課題 又は改善点 | すべての人が快適に利用できるように電子図書館の導入、活用に向けて電子コンテンツの選定、検討をすすめる。 | |

令和5年度 点検評価シート

| | | |
|------------------------|--|---|
| 施策名 (大分類) | 読書機会の提供と読書活動のすすめ | |
| 施策名 (中分類) | 課題解決や多様な学習活動等の支援【⑪-(2)】 | 担当課・係 図書館 図書1・2係 |
| 施策の目的 | 図書館利用者が求める資料や情報を提供するレファレンス・サービス等の充実・高度化に努める。また、生涯学習情報その他の情報提供にも努める。 | |
| 教育委員会による自己評価 | | |
| 令和5年度評価指標 (事業計画・目標) | <ul style="list-style-type: none"> 市民からの調査依頼に図書館資料を利用して回答する、レファレンスサービスを実施する。 月1～2回程度、特集コーナーを更新する。 | |
| 令和5年度実績評価 (施策評価) | <ul style="list-style-type: none"> 3,365件のレファレンスを受け付けた。小説や自然科学、郷土に関する内容が多かった。 季節や行政課題等をテーマとした特集コーナー展示を84回実施した。 | |
| | A | A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。 |
| 令和4年度実績評価 | 3,216件のレファレンスを受け付けた。小説や自然科学に関する内容が多かった。季節や行政課題等をテーマとした特集コーナー展示を92回実施した。 | |
| 今後の取組課題 又は改善点 | <ul style="list-style-type: none"> 受けたレファレンスの事例を公表することにより、市民への制度の周知を広げる。 市民が求める情報内容の展示を実施する。 | |

| | | |
|------------------------|---|---|
| 施策名 (大分類) | 読書機会の提供と読書活動のすすめ | |
| 施策名 (中分類) | 情報通信技術(ICT)の活用【⑪-(3)】 | 担当課・係 図書館 図書1・2係 |
| 施策の目的 | 紙媒体とデジタル媒体のハイブリッド図書館として、多様な方法で市民への情報提供を図る。 | |
| 教育委員会による自己評価 | | |
| 令和5年度評価指標 (事業計画・目標) | <ul style="list-style-type: none"> SNSを通じて、イベント情報や図書館の業務、サービスについて発信する。 図書館のイベント情報等をホームページや広報誌に掲載し、情報発信を行う。 | |
| 令和5年度実績評価 (施策評価) | <ul style="list-style-type: none"> 図書館公式X(旧Twitter)の発信を、菊川文庫221回、小笠図書館238回行った。 ホームページにおいて図書館のイベント情報や特集展示等の情報発信を119回行った。 | |
| | A | A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。 |
| 令和4年度実績評価 | 図書館公式Twitterの発信を、菊川文庫200回、小笠図書館398回行った。ホームページにおいて図書館のイベント情報や特集展示等の情報発信を121回行った。 | |
| 今後の取組課題 又は改善点 | <ul style="list-style-type: none"> 今後もイベント情報や図書館のサービスについてSNSやホームページで積極的に発信していく。 電子図書館の周知や利用促進を図るために、情報発信をしていく。 | |

令和5年度 点検評価シート

| | | |
|------------------------|---|--|
| 施策名 (大分類) | 読書環境の整備 | |
| 施策名 (中分類) | 計画的な資料収集と蔵書管理【⑫-(1)】 | 担当課・係 図書館 図書1・2係 |
| 施策の目的 | 多様化する市民ニーズに対応するために、一般書、児童書、参考資料、郷土資料、行政資料、視聴覚資料等の確保・充実に努める。 | |
| 教育委員会による自己評価 | | |
| 令和5年度評価指標 (事業計画・目標) | <ul style="list-style-type: none"> ・新刊本の購入や寄贈資料の受入、書架整理を行う。 ・地域資料の収集、両館が所蔵する古文書のデジタル化及びホームページ公開を行う。 | |
| 令和5年度実績評価 (施策評価) | <p>図書7,574点(内新刊本購入6,878点、寄贈等696点)を受け入れた。各館それぞれ館内整理日に書架整理8回、蔵書点検1回を実施した。</p> <p>両館で所蔵する貴重な古文書・地域資料をデジタル化した。市図書館のホームページで5件を公開した。</p> | |
| | A | <p>A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。</p> <p>B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。</p> <p>C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。</p> |
| 令和4年度実績評価 | <p>図書7,842点(内新刊本購入7,263点、寄贈等579件)を受け入れた。各館それぞれ館内整理日に書架整理8回、蔵書点検1回を実施した。</p> <p>両館で所蔵する貴重な古文書・地域資料をデジタル化した。県立中央図書館、市図書館それぞれのホームページで10件を公開した。</p> | |
| 今後の取組課題 又は改善点 | 電子図書館の公開に向け、引き続き地域資料のデジタル化を進める。 | |

| | | |
|------------------------|---|--|
| 施策名 (大分類) | 読書環境の整備 | |
| 施策名 (中分類) | 専門性を備えた職員の育成【⑫-(2)】 | 担当課・係 図書館 図書1・2係 |
| 施策の目的 | 図書館サービスを担う職員の資質・能力向上と、専門性の高い職員の育成活用を目指す。 | |
| 教育委員会による自己評価 | | |
| 令和5年度評価指標 (事業計画・目標) | <ul style="list-style-type: none"> ・初任者やキャリアに応じた、職位に応じた研修など、他機関で実施する専門的な研修等への積極的な参加を促進し、参加した研修の内容や成果を職員間で共有する。 | |
| 令和5年度実績評価 (施策評価) | <p>担当業務や自身の能力を向上させるための研修に参加し、研修内容を他の職員と共有することで図書館運営の改善を図った。</p> | |
| | A | <p>A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。</p> <p>B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。</p> <p>C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。</p> |
| 令和4年度実績評価 | <p>担当業務や自身の能力を向上させるための研修に参加し、研修内容を他の職員と共有することで図書館運営の改善を図った。</p> | |
| 今後の取組課題 又は改善点 | 県立図書館が主催する各種研修の他、国立国会図書館等が主催する遠隔研修等、多様な研修に参加することで職員のスキル向上を図る。 | |

令和5年度 点検評価シート

| | | |
|------------------------|---|---|
| 施策名 (大分類) | 読書環境の整備 | |
| 施策名 (中分類) | 市民協働による図書館運営の推進【⑫-(3)】 | 担当課・係 図書館 図書1・2係 |
| 施策の目的 | 図書に関するボランティア活動の場を創出・提供し、市民との協働による図書館運営を目指す。 | |
| 教育委員会による自己評価 | | |
| 令和5年度評価指標 (事業計画・目標) | ・おはなし会やおはなしステーション、こども図書館等の図書館行事において、ボランティアと協働して事業を実施する。 | |
| 令和5年度実績評価 (施策評価) | おはなし会やおはなしステーションの図書館行事において、ボランティアと協働して事業を実施した。 | |
| | A | A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。 |
| 令和4年度実績評価 | おはなし会やおはなしステーション、こども図書館等の図書館行事において、新型コロナウイルス感染症対策を図りながら事業を実施した。 | |
| 今後の取組課題 又は改善点 | ボランティア団体が安定した活動を継続するため、新規参加者を増やす必要がある。引き続き、ボランティア養成講座の開催や、図書館を通じたボランティア募集を行う。 | |

| | | |
|------------------------|--|---|
| 施策名 (大分類) | 読書環境の整備 | |
| 施策名 (中分類) | 効果的な図書館運営の検討【⑫-(4)】 | 担当課・係 図書館 図書1・2係 |
| 施策の目的 | 効果的な図書館運営、市民サービスの充実向上を図るために図書館協議会を開催し、図書館のあり方等について検討する。 | |
| 教育委員会による自己評価 | | |
| 令和5年度評価指標 (事業計画・目標) | ・図書館の適切な運営のため、図書館協議会を年3回開催する。 ・自主財源確保に向けた取り組みとして、雑誌スポンサーを募集する。 | |
| 令和5年度実績評価 (施策評価) | 図書館協議会を3回開催し、電子図書館の導入などについて審議を行うことができた。雑誌スポンサーを募集し、2社(フライスター株式会社東海工場、株式会社ベルソニカ)からの申し込みを得た。 | |
| | A | A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。 |
| 令和4年度実績評価 | 図書館協議会を3回開催し、第四次子ども読書活動推進計画の策定および電子図書館の導入について審議を行うことができた。雑誌スポンサーを募集し、1社(掛川市労働者福祉協会)からの申し込みを得た。 | |
| 今後の取組課題 又は改善点 | 休館日や開館時間の見直しや電子図書館の運用開始にあたり、図書館協議会での審議を行うとともに、引き続き雑誌スポンサーを募集する。 | |

外部評価

教育委員会の活動「シート1」及び管理執行する事務「シート2」に対する外部評価

教育委員会の活動及び運営状況について

・定例教育委員会の審議案件を見ると4月が16議案、3月が23議案と突出して多く、この中でも教育委員会が同意し、委嘱又は任命する人事議案が半分以上を占めています。

これだけ人事議案が集中していれば、教育委員の皆様が推薦された方を知らない状況下での審議も多いかと思ひます。提案者は、提案理由や基準、その方を選出した思ひなど、丁寧な説明をお願いしなす。

・様々な角度から事業に取り組まれ、頭が下がる思ひです。

・毎月の審議案件数ですが、4月と3月に集中し、9月と1月は各1件しかない状況ですが、もう少し各月に分散して審議することは難いでしょうか。会議・研修会の件ですが、総合教育会議が開催されなかつた理由は何か。首長が召集するものなので、教育委員会からの召集ではないと思ひますが、次年度は開催されることを願っております。

教育委員会の活動に対する点検評価結果について

・(4)教育委員会と首長の連携

市長が主催とはいえ、総合教育会議が開催されなかつたことは非常に残念に思ひます。特に学校教育が過渡期を向かえている中で、市長と教育委員会の意思疎通や教育の課題、菊川の教育のあるべき姿を共有することができる会議は重要だと考えます。

・適正に評価されていると思ひます。首長の教育に関する思ひ等を伺う機会があれば、私達も知ることができればと思ひました。

・教育委員会の活動は、全体的に適切であると思ひます。(5)教育委員の自己研鑽について、教育長、若手教員、校長と語る会が各々開催されたことは、素晴らしいことですね。特に「若手教員と語る会」は、今後も継続していただきたいですね。

教育委員会が管理執行する事務に対する点検評価結果について

・令和5年度に議案がなかつた項目以外の実現度がA評価になっていることは評価できると思ひます。

・適正に評価されていると思ひます。

・12項目中、9項目が実現度Aですので、適切であると思ひます。

こども政策課に対する外部評価

①幼児教育・保育の質の向上

・実績評価がすべてAに対して、職員の皆様が保育の質の向上に高い意識を持ち、日々の地道な実践の積み重ねをされてきていることが良く分かりました。心から感謝申し上げます。

・社会の変化に伴い、保護者の生活様式や考え方も含め、家庭環境も多様化していることを感じます。しかし、変わらず大切なことは、乳幼児期が生涯の人格形成の土台をつくる大切な時期だということです。園と家庭、社会が互いに理解し合い、良い関係を築き、協力して、乳幼児期にふさわしい環境を作つていただきますよう、今後も引き続きよろしくお願ひいたします。

②地域社会・私立幼稚園・保育園・認定こども園・小中学校との連携

・人は、一人では生きてゆけません。子ども達にも、保護者にも、職員間も、保・幼・小・中の先生方も、地域も、互いに理解し合い、助け合い、補い合いながら、前に進んでいける関係作りが大切だと思います。そのための情報交換や研修を通しての高め合いを引き続きお願いいたします。

・様々な体験を通して学んでいく子ども達です。人と関わる楽しさ、喜び、人の役に立てる嬉しさなどを積み重ねていって欲しいと願っております。

学校教育課に対する外部評価

①小中一貫教育「学びの庭」構想の推進

・「学びの庭」構想の推進は、菊川の子供たちのこれからを考えると必要で重んじなければならないものです、教育委員会や学校関係者の皆様のご苦労も多いかと思いますが、是非やり遂げて頂きたいと思っております。

・小中一貫教育「学びの庭」構想は素晴らしい取り組みですが、菊川市民の関心度が心配です。この構想に関心を持ってもらうためにも、この構想の必要性、学舎運営協議会の内容等を広報等でもう少し紹介したらどうでしょうか。

・昨年度、学舎運営協議会に2回参加させてもらい、各学校の取組状況は分かったが、実際に自分の子どもを見ていても、小中一貫教育が行われているという実感は無かったので、今後のコミュニティ・スクールに期待したい。

②ICT環境等を生かした魅力ある授業づくり

・少ない予算の中でICT環境整備を行い、有効活用を図っていることがうかがえます、この取り組みの成果を期待しています。

・「魅力ある授業づくり」、そして「一人ひとりに確かな学力をつけること」、これは学校教育の原点です。菊川市のICT機器を活用した授業への取り組みは素晴らしいと思っております。一人一台のiPad自宅利用について、課題、問題点があれば対応願います。

・ICTを使いこなすことは、今の子ども達に必ず必要な力なので、授業で使用することで、自然に使えるようになっていくことはとてもいいと思う。一方で、ICT機器への依存にも十分配慮し、使い方(時間等)の指導も同時に行って欲しい。

③思いやりに満ちた学校づくり

・人権教育は学校だけではなく、地域や家庭など様々な場を通じて行うものだと思います、学校での取り組みを広報の特集などで報告してはどうでしょうか。

・人権教育、福祉教育、心の教育、道徳教育、適応指導教育等、思いやりに満ちた学校づくりが実践されていると思っております。子ども達一人ひとりの声に耳を傾け、心の痛みを理解し、声をかけることが大切だと思います。

・いじめ、不登校、別室登校について、手厚く対応してくれていることが、子どもを通して伝わり、一保護者として、安心して子どもを学校に通わせられ、とてもありがたい。先生方は、日々の業務で大変お忙しいと思うが、取り残される子どもがいないよう、研修会等、これからも続けていって欲しい。

④「一人ひとりが生きる教育」の推進

・評価シートを拝見させていただき、改めて学校や先生方の大変なご苦勞を感じました、すべての施策の目的が達成されたことを評価します。

・特別支援教育の推進、外国人児童生徒への教育支援については、大変きめ細かく指導、支援されていると思います。両者とも、一人ひとりのニーズに合った個別の指導、支援が求められていますが、現状では支援員の配置が少ないように思います。

・特別な支援が必要な子どもが増えている中、一人ひとりのニーズに合った支援をしていただければ、親も子どもも、本当にありがたいと思う。支援級は、普通級以上に、学校毎に取り組んでいることが違うと思うので、学校間の情報共有がより必要ではないかと思うので、研修会の実施はとても良いと思う。

⑤こころざしを持った頼もしい教職員の育成

・教職員研修の必要性は理解しています、併せて、校長面談や先生方の心のケアも十分に進めて頂きたいと感じました。

・教職員の育成指導(研修会等への参加)、教職員の人事及び評価(校長面談)、円滑な学校運営の推進(学校評価)について、適切に実行されていると思います。教職員の育成については、教員本人の「求める研修」か「受身の研修」か、教員一人ひとりの「自覚」だと思えます。

・教育免許更新制度は、先生方の負担の割に、受講する機関によって内容にバラつきがあったと聞いたことがあるので、新しい研修制度は、実際の現場で役立つ、生かされる内容でなることを期待する。

教育総務課・学校給食センターに対する外部評価

⑥学校施設の適正な維持管理・耐震化・長寿命化

・トイレの洋式化、子どもにとって大事な心地良い環境作りをしていただけて、とても良かったです。

・学校設備についても定期的に点検、改修がされており、適正に管理されていることが分かりました。劣化した箇所がないか定期的に点検していただくことで、子ども達が事故にあわず安全に過ごすことができているのだと思います。

⑦安全で安心して教育が受けられる環境づくり

・子どもの環境を左右する家庭の経済的要因による教育格差をなるべく小さくするよう、今後も支えていってください。

・子ども達が家庭の次に長い時間を過ごす場である学校、教室を適正に管理していただけていることが分かりました。早期に市内全校の整備が完了し、より良い環境で学ぶことができるようになることを希望します。

⑧安全でおいしい給食の安定的な提供

・安全に細やかな配慮が必要な給食、とても工夫され、心を砕かれていると思います。おいしく食べることには味と雰囲気も大切、今後もよろしくお願いします。

・子ども達への食育が保護者へ伝わり、お互いが健康に過ごすことができるようになればと思います。

・経済的な理由で給食が食べられないことがないよう配慮していただきありがとうございます。安心安全な食材を衛生管理された環境で調理していただき、子ども達は安心して給食をいただくことができます。影ながら支えてくださっている給食関係者の皆様に感謝いたします。

社会教育課（社会教育）に対する外部評価

①地域で子どもを守り育てる活動の推進

・子どもから大人まで交流できる活動に、お祭りや防災があります。また、地域によっては、納涼祭や地区行事があります。活動の中で、行儀を学んだり、礼儀を学んだり、大人と一緒に活動すると双方に学ぶことが多くあります。子ども達にもそれなりの役目を持たせることも必要です。

・自身もこの春まで、5年間ボランティア活動(明るい社会づくり運動＝明社協)に参加してきたが、歳末募金活動参加児童・生徒の減少、固定化を感じる。ボランティア参加認定制度の実行性を高めるためにも、子ども達の活動参加の現状分析結果等を広く市民へ提供して、共通認識していくことが求められると考えます。

・現状をよく把握していないので具体的に申し上げられませんが、放課後子ども教室の全9小学校開催に向け、未開催地域の子どものでも柔軟に参加可能な体制を構築されたい。

②家庭の教育力向上

・家庭の中では、やはり家族の一員であるという意識を持たせ、手伝いやマナー、しつけを学んでほしいと思います。家庭にしかない愛情の表し方もありますから、自分が必要とされているという思いを持ってもらうのが必要です。

社会教育課（生涯学習）に対する外部評価

③生涯学習活動の推進

・高齢者が増える中、生涯学習活動は、頭も体も元気な高齢者を増やすには大切な事だと思います。市の中央部だけの学習会場でなく、地区への出張開催もできたら実施していただきたいと思います。今年度は、開催会場に六郷地区センターなどもあり、嬉しく思います。

・令和6年度からコミュニティ・スクールがスタートしたことを知りました。かつては、地域のお祭り、地区体育大会、地区対抗駅伝競走大会、その他色々計画され、地域住民と子どもとの交流の場がありました。現在は、全くと言って良い位、交流がありません。地域が目標を共有し、一体となって地域の子どもの達を育てていく事が大切だと思います。

・菊川市では、ステップアップ講座やサークル、各地区センターや地区公民館で様々な生涯学習に関する講座を市民に提供してくれています。学校を卒業した大人は、もっと勉強しておけば良かったと、勉強したい意欲にかられます。ですから、生涯学習への意欲にかられて勉強したくなります。何をしたいか、何を身に付けたいか。市としては、これからもアンテナを高くして市民の声に耳を傾け、やりたいことをぜひ提供してください。何も、勉強や資格だけではなく、普段の生活の中での知りたいことなどでも良いので、よろしくをお願いします。

・高齢化と多様性が認められる時代ですから、諸施策も難しいと思われれます。幅広いニーズに応える講座開設には、①少人数規模で、②講師確保を、③開設講座回数多様化(体験的受講の容認)等、従来の形の見直しが必要だと思います。当然、脚の確保(参加手段)も大きな要素となりますので、同一内容を複数会場で設定する等の見直し検討が必要と思われれます。女性が受講者の大半を占める状況との報告である以上、男性が何故振り向かないのか、その分析に基づいたメニュー変更も必要でしょう。高齢男性の引きこもりを減少させねばなりません。もし、男性のニーズ把握を行っていないのなら、実施するようお願いします。

社会教育課（社会教育）に対する外部評価

④鑑賞機会の提供

・アエルでは、本物のエンターテイメントをリーチアウト事業として各学校にアーティストを訪問させて、子ども達に感じてもらっています。小さいうちから良い経験をすることは大変重要で、どこでその子の将来を決めるポイントになるか分かりません。

・アエルの音響設備改修により、いろんな機会に「とても良くなった」と聞きます。SBSプロモーションも目配りが効いていると感じます。プロの演奏家を順番で各小学校へ招く等、我々の時代には考えられない機会を提供する素晴らしい施策だと思います。プロに限らず、地域の若者等、年齢を越えた”好き者グループ”の演奏や演技も新鮮な刺激の機会となるのではないのでしょうか。

⑤市民の文化・芸術活動への支援

・素晴らしい芸術作品に触れる機会を沢山与えられるということは、大変有意義なことです。これからも、色々な分野で活躍しているみなさんの素晴らしい芸術に触れ合えることを期待します。

・文化活動事業の委託3事業では、文化協会員の高齢化も進み、運営に負担が増していると思います。特に、絵画、書道では、専門家が実行委員にいないなど、形骸化、形式的な事業運営と思われます。斬新な発送、事業展開は期待薄となりやすいので、文化団体の外にいる専門家を取り込む方策が求められていると思います。

社会教育課（文化振興）に対する外部評価

⑥文化財の保存・周知・活用

・文化財の中で、①文書史料、②明治以降の遺産に対する保存方針が確立されていないように感じます。とりわけ、文書史料保存の基本方針を確立することは急務と思います。「菊川市文書館」の設立に向けて長期的なプランの策定に着手願います。

・国指定史跡の横地城の保存計画をまとめてくださった菊川市埋蔵文化センターには厚く感謝いたします。菊川市の多くの文化財の保護と紹介に、今後ともご尽力されるようお願いしております。

社会教育課（スポーツ振興）に対する外部評価

⑦誰もがスポーツに触れあう機会の創出

・市では、色々な年齢層にあった行事や教室を開いてくださっております。残念なのは、例えばその教室が長くて8回位のシリーズで、やっと教室の仲間とも慣れ、体の調子も良くなってきた頃に終了してしまうので、年間を通しての開催が必要です。”継続は健康なり”と思います。

・誰もがスポーツに触れ合うことは大切なことであり、各種スポーツ団体の協力が必要になります。各種スポーツ団体との目的を同じくし、互いに協力し合って事業を推進していただきたい。

⑧スポーツ団体・スポーツ活動への支援

・スポーツ協会に所属しておりますが、会員の高齢化、会員の減少化が問題になっています。そして、スポーツの種目もかつての時代よりも大きく変わってきています。時代の流れに乗った、スポーツ協会の対応が必要だと思います。

・スポーツ団体とのコミュニケーション連携をより高めるようお願いしたい。より各種スポーツ団体との密接な関係を保つための施策を考えていただきたい。

⑨スポーツ活動の場の提供

・堀之内体育館の建て替えが行われ、その期間使用できません。現在の利用者、特に昼間使用するシニア世代は、その間どの様にするか問題です。この世代の人は、「残念だが、これを機に解散」という話も聞いています。車で総合体育館や小笠体育館までは遠くて行けないということです。建物ができたら、できるだけ早期に開放して欲しいと思います。

・スポーツ活動の場の提供について、毎年各施設の修繕、改修が行われておりますが、今後も引き続き、施設の状態を把握し、計画性を持って執行していただきたい。また、菊川市のスポーツ施設について、隣接市(掛川市、島田市他)に比べ、専用道場がありません。予算の問題もありますが、御一考ください。

図書館 事務事業に対する外部評価

⑩子どもの読書活動の推進

・子ども達にとって、色々な分野に興味や関心を広め、心豊かにさせてくれる読書環境は、なくてはならないものです。皆で大切にしていけるように推進されていると思います。

・おはなしステーションやおはなし会等も、大勢の方達の思いや力がずっと引き継がれてきています。少子化の影響が心配ですが、今後とも、つなげていただけたらと思います。

・子ども司書の人達の活躍の場を設けるなど、一步一步、歩みがなされていて楽しみです。

⑪読書機会の提供と読書活動の啓発

・図書館の使い方、どんなシステム、どんなサービスがあるか等、よく分からずにいる人もまだいるかと思えます。SNSや広報誌、ホームページ等、繰り返し繰り返しの情報発信を引き続きお願いします。

・高齢者等で、利用したいけど図書館へ行きにくい方もいるかと思えます。地区センター等へなかよし号のように巡回するのはどうでしょうか。(本や資料の紹介や、図書カード作りの機会にもなると思えます。)

・司書の人達の色々な新企画、その時々に取り上げられたコーナーは、来館者にいい刺激となり、読書の幅を広げてくれていると思います。

⑫読書環境の整備

・現代社会において、市民のニーズは多様化している状況にありますが、様々なあり方を探り、全体のバランスをとりながら工夫して取り入れ、より多くの人々が利用しやすいようにとの配慮、ありがたいです。大変ですが、今後ともよろしくお願いいたします。

・デジタル化が進む社会の流れの中ですが、今までの紙の本の良さも大事に、行間を自分の目で追いながら読みとる力や、生の声で読んだり読んでもらったりする機会等を無くさないように望みます。(紙の文化だからこそ生み出されている良さもあると思います。)

総評:教育委員会全般について

・教育委員会の職員がこの報告書を作るための労力と時間は計り知れないものがあると思います、本来の担当業務に少しでも専念してもらえよう報告書の簡素化(個別事業数の削減など)を提案させていただきます。

・今後、さらに加速度的に変化する社会に向かっていく子ども達が、他者との協働・コミュニケーションにより、1人では生み出せないものをみんなで創り出せるように導いていってください。

・読書により、想像力・創造力を高める機会を多く与えていってください。

・現在、菊川市でも「未来の部活動在り方検討会」を開いて、その対応を協議しています。日本の未来を担う大切な子ども達には、ぜひ部活(スポーツ・文化)を続けて欲しいと思います。色々な家庭の事情もあると思いますが、どの子どもみんなが参加できるようになったらいいな、と願っております。

・菊川文庫2階の旧菊川町史編纂室の有効利用を工夫してください。

・子ども達の帰宅後の生活が、ゲーム中心の生活になっているのでは?(特に、夏休みは約40日間、暑いので自宅で過ごす時間が長い。)この件に関して、保護者からの相談、保護者との話し合い等、どんな状況か確認をお願いします。

・全国各地の自治体の最大の願いは、人口の減少を防ぎ、出来れば増加を目指すことでしょう。若いご夫婦が菊川に住み、子育てしたいと思える環境整備が求められます。下水道の整備、生活道路の充実、防災対策など沢山の課題がありますが、とりわけ菊川市の場合、具体的には菊川駅北口の開設と、幼児教育から始まる教育環境の整備が大切だと考えられます。設備面と教育内容の充実を今後とも目指していかれるよう要望します。

・コロナが一段落したかと思ったら、異常気象による熱中症対策、また、他市の一部の幼児施設での子どもに対する不適切な保育の問題など、次から次へと新たな問題に追われて、心休まる日がない社会環境です。そんな中で、教育委員会の皆様方が子どもの安全・安心を守ること、健やかな育ちを支えることに精一杯のご努力をいただいていることに、心よりお礼申し上げます。これからもよろしくお願いいたします。

・子どもを通して、また、実際に学校現場で働かせていただいで、菊川市の先生方は、生徒一人ひとりに寄り添った教育を行ってくださっていると感じます。一方で、もっと深く関わってあげたくても、業務が多忙で、その余裕がないとも感じます。中学は、部活動の地域移行も数年後には進むということなので、先生方に余裕が生まれ、学級経営、学校経営がより良いものになっていくことを願います。

・娘2人がお世話になりました。おかげさまで2人共無事義務教育を終え、社会人、高校生として充実した毎日を送っています。子ども達にとって、とても大切な小中学生の時期を、これからも大切に育てていただきたいと思います。

総評:教育委員会全般について

・今の世の中、パソコンと英会話は必要です。IT社会でフルスピードで変化している昨今、子ども達は、学校では1年生から各自1台iPadを持っており、ゲームも多様化しており、家でもスマホやTV画面を使ってゲームをしています。ただ、文科省から「日本人は英語の読み書きは優れているが、会話ができない人が多いため、聞く、話すを重点的に学ばせたい。」ということで、小学3年生から外国語活動(英語)を導入しました。菊川市ではALTは中学校3校をローテーションして教えているアメリカ人が1人しかいません。英語の話せるALT(日本人)は小学校でがんばっていますが、この頃は中学校の英語的授業が前倒しているように感じます。確かに読み書きも必要です。最終的には、Read(読む)、Write(書く)、Listen(聞く)、Speak(話す)の4分野のバランスが必要です。今のままでは、中学校に行く前に英語が嫌いになってしまいそうで会話どころではありません。少なくともネイティブのALTをもう1人雇用していただき、小学校を回って子ども達と英語を話す楽しみを感じさせて欲しいと思います。

・行政全般の情報のDX化と言うのか、SNS活用は理解します。また、教育行政に関する情報は、家庭に小学生や中学生がいなければ、把握が難しくなります。地域で子どもと一緒に育てる取り組みも、学舎単位で本格化となったが、子どもを持たない(既に巣立った家等)地区住民には、より一層その点を意識した情報提供が必要と考えます。たまたま自治会役員であったり、社会教育委員であったりして理解しても、ここは重点的かつ意識的に情報提供を行い、PTAや地区役員以外の住民の理解や協力を得る手段が大切と考えます。更なる御努力を御期待いたします。

・子どもの頃に育ってきた環境の力は、これから成長する中、生涯大きな支えとなっていきます。学校、地域社会、家庭が連携しての取り組みがより必要なことと、報告書から改めて痛感しました。ありがとうございます。

・生涯学習、全ての年代を繋げ・繋がり、色々な人との交わりの中で、お互いにいい刺激となり、自分の在り様を振り返り学ぶ…。とかく同年代の関わりだけになりやすいですが、交流していく機会が多くあると良いと思います。

・日本の伝統文化が薄れてきているので、生活を見つめ直し、意図して少しでも取り入れていくことが必要ではないかと思います。(行事、食事、生活様式、言葉等)



教育委員会自己点検・評価報告書

令和 6 年 8 月

菊川市 教育委員会 教育総務課

〒 437 - 1514

静岡県菊川市下平川 6225

TEL 0537-73-1136 FAX 0537-73-1119

E-mail : kyouiku@city.kikugawa.shizuoka.jp